

# 1 . 平成 2 1 年度事業報告書

- 1 . 概況：重点活動状況
  - 2 . 会員の異動状況
  - 3 . 会議等に関する事項（総会，理事会，各種委員会）
  - 4 . 事業の状況：研究・調査、研究発表・学術講習会などの開催（定款 5 条 1 号）
  - 5 . 事業の状況：会誌および学術図書の刊行（定款 5 条 2 号）
  - 6 . 事業の状況：標準化の推進、普及啓蒙（定款 5 条 3 号）
  - 7 . 事業の状況：情報技術関連の国際学協会への加盟、連絡・協力（定款 5 条 4 号）
  - 8 . 事業の状況：関連学協会との連絡、協力（定款 5 条 5 号）
  - 9 . 事業の状況：その他，目的を達成するために必要な事業（定款 5 条 6 号）
- 
- 付 1 . 会議等に関する事項（総会、理事会、各種委員会）
  - 付 2 . 研究会および研究発表・学術講習会等一覧
  - 付 3 . 刊行物一覧
  - 付 4 . 国際会議一覧
  - 付 5 . 表彰等

# 1 . 平成 2 1 年度事業報告書

## 1 . 概況：重点活動状況

本会は平成 22 年度に創立 50 周年を迎えるが、平成 3 年度から会員数が減少し続けているという大きな問題を未だ克服できていない。厳しい経済状況の中にあるものの、創立 50 周年というまたと無い機会を最大限に活用し、アドバイザリーボードからの提言(平成 21 年 3 月)に基づく活動を推進することによって、本会のプレゼンスを高めつつ、新たな価値やサービスを創造し、学術・実務・標準化の活動を連携発展させることがこの問題の解決につながると考え、種々の活動に取り組んだ。

特に重点的に実施した次の活動概況を報告する。

(1) 創立 50 周年記念事業の推進、(2) 実務家の経験・知識の発露の場としての「デジタルプラクティス」の創刊、(3) アドバイザリーボードからの提言に基づくアクションプランへの対応、(4) 高度 IT 人材資格制度への取り組み、(5) 積極的な社会提言と情報発信について概況を報告する。

### 1.1 創立 50 周年記念事業の推進

創立 50 周年(平成 22 年度)に向けて、記念事業実行委員会ならびに各事業の実働委員会により、次の各事業を推進した。

論文誌・研究会のオンライン化(詳細は 5.6 項参照)

次世代型ハンドブックの刊行(詳細は 5.6 項参照)

記念全国大会(詳細は 4.4 項参照)

記念会誌(詳細は 5.1 項参照)

コンピュータ将棋とプロ棋士との記念対局(詳細は 4.4 項参照)

記念論文(詳細は 5.3 項参照)

50 年史の刊行(詳細は 9.3 項参照)

記念式典(詳細は 9.3 項参照)

記念事業の先鞭をつけて、記念全国大会を言語処理学会と共催で平成 22 年 3 月 8 日～12 日に東京大学で開催した。プレイベント、ポストイベントを加えた 5 日間の構成とし、本大会ではチューリング賞受賞者の Fran Allen 氏をはじめとする招待講演、特別セッション、シンポジウム、大規模展示などの多数の企画を実施した。1,822 件の講演と 7,150 名の参加を得て、学会初の規模をもって成功裏に終了した。

### 1.2 実務家の経験・知識の発露の場の提供：「情報処理学会デジタルプラクティス」の創刊

実務家の経験・知識の発露の場を提供するべく、デジタルプラクティス編集委員会(21年9月まではインダストリアルペーパー準備WG)において編集体制・査読基準等に関する検討を重ね、平成22年2月に「情報処理学会デジタルプラクティス」Vol.1, No.1(特集：サービスサイエンス)を創刊した。

非会員に対しても電子図書館上でオープンアクセス可能とするとともに、創刊号は記念全国大会(平成 22 年 3 月)での配布や、日本情報システム・ユーザー協会(JUAS)のコミュニティへの配布を行い、本誌の周知に努めた。

### 1.3 高度 IT 人材育成に向けた取り組み

平成 20 年度に纏めた情報処理技術者の資格試験のあり方をもとに、高度 IT 人材資格制度設計 WG を設置して制度の詳細設計を開始した。制度設計にあたり、IFIP(International Federation for Information

Processing) の国際的な IT 人材資格制度の枠組みである IP3 (International Professional Practice Partnership) に加盟し、ボードメンバーとなった。また、IP3 の認定を受けたオーストラリア ACS (Australian Computer Society) やカナダ CIPS (Canadian Information Processing Society) の高度 IT 人材資格制度を調査し、ソフトウェアジャパン 2010 における高度 IT 人材育成フォーラムで発表した。

#### 1.4 アドバイザリーボードからの提言に基づくアクションプランへの対応

アドバイザリーボードからの提言に基づくアクションプランへの対応を次の通り推進した。

- (1) 前 1.2 項の通り「情報処理学会デジタルプラクティス」を創刊した。
- (2) 「情報処理学会デジタルプラクティス」第 2 号 (2010 年 4 月刊行) に「事業に生きる標準化の力」の特集を企画するなど、標準化活動に関する情報発信を推進した。
- (3) 学術・実務・標準の 3 焦点が集う場の足がかりとして、日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS) と連携して JUAS スクエア 2009 に喜連川副会長を講師として派遣した。また、記念全国大会に併催するソフトウェアジャパン 2010 において、情報処理推進機構 (IPA)、日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS)、情報サービス産業協会 (JISA)、プロジェクトマネジメント (PM) 学会、XML コンソーシアムなどと連携した企画を実施した。
- (4) ダイバシティに向けた取組みとして、IT ダイバシティフォーラムが協力して、記念全国大会においてチューリング賞受賞者の Fran Allen 氏をスペシャルゲストに招いてイベント企画「CHANGE! Yes, we can! Past, Present, Future of Women in Information Technology」を行うなど活動を推進した。
- (5) 青少年向け活動を推進し、記念全国大会において共催イベント「イマジンカップ (マイクロソフト主催) や「中学・高校生ロボットコンテスト: ロボットを作ろう、動かそう (ベネッセ・マイクロソフト主催) を実施した。また、学生の講演発表をエンカレッジするため、優れた論文を推奨卒業論文・修士論文として認定した。
- (6) 会費の口座引落の推進、非会員の委員等への入会勧誘などを実施し、新規会員の入会促進と会員減の防止に努めた。
- (7) 諸活動を適切に評価するための関連データの収集を継続した。

#### 1.5 積極的な社会提言と情報発信

- (1) 広報委員会を立上げ、広報案件などを検討するスキームの確立に努めた。
- (2) 特に、学会として次の意見表明を行い、各方面に広く取り上げられた。

平成21年9月30日公開	「Googleブック検索の提起した課題」
平成 21 年 11 月 26 日公開	「行政刷新会議事業仕分けに関する意見書」

## 2. 会員の異動状況

会員種別	会員数		増減数	前年度 増減数	備考:21年度の異動				
	21年度末	20年度末			入会		退会		除名
名誉会員	39	40	-1	0	1	正会員から異動	2		
正会員	17,590	18,103	-513	-536	470 689 16	学生会員から異動 復会	1,180 1	名誉会員に異動	507
学生会員	2,375	2,298	77	-76	1,268 4	復会	487 689	正会員に異動	19
準会員	38	39	-1	-4	1 1	復会	2		1
個人会員 計	20,042	20,480	-438	-616	2,450		2,361		527
賛助会員 (口数)	264 (544)	275 (552)	-11 (-8)	-16 (-16)	19 (29)		30 (37)		

\* 入会には復会, 再入会を含み, 退会には死亡退会を含む。正会員には終身会員(253名)を含む。

## 3. 会議等に関する事項(総会, 理事会, 各種委員会)

付録1(p.13~p.22)に掲載する。

## 4. 事業の状況: 研究・調査ならびに研究発表・学術講習会などの開催(定款5条1号)

### 4.1 調査研究・研究発表 [所掌: 調査研究運営委員会]

研究会(35)と研究グループ(4)が研究分野ごとに「コンピュータサイエンス領域」「情報環境領域」「フロンティア領域」「調査研究運営委員会」のいずれかに所属し, 調査研究活動の活性化を図った。次年度より教育学習支援情報システム研究グループが研究会へ昇格することとなった。

各研究会等の詳細および研究発表会(148件), シンポジウム(24件)の開催状況の詳細は, 付録2(p.23~p.29)に掲載する。トランザクションについては, 5.4項に掲載する。

#### (1) 学生会員の取り込み

学生会員の研究会参加の促進と育成を目的に, 平成17年度から学生の1研究会登録費の無料化を継続している。

#### (2) 研究会活動のオンライン化への取り組み

刊行物オンライン化委員会の検討推進のもと, 平成21年度より研究報告を完全オンライン化した。また, 研究報告・シンポジウム論文の電子投稿受付システムの開発を引き続き行っている。

### (3) 諸活動との連携・協力

領域委員会を通じて、創立 50 周年記念事業や全国大会へ、委員の派遣やプログラム編成等の協力を引き続き行った。

## 4.2 教育活動 [所掌：情報処理教育委員会]

### (1) 大学・大学院での専門教育向けの活動

情報専門学科におけるカリキュラム標準 (J07) のフォローアップ

J07 普及のため主要機関へは無料配布し、その他の要望については委託販売で対応した。また、CS BOK の採択状況の調査に着手し、次年度以降に向け調査内容・取りまとめ方を策定し、一部調査のとりまとめを開始した。

アクレディテーション

日本技術者教育認定機構 (JABEE) の諸活動を通して、大学での専門教育の質的向上を推進した。具体的には、JABEE からの業務委託にあたる審査に加え、審査員の養成を進めている。また、JABEE が進めている専門職大学院認証評価に向けての仕組みづくり、国際的相互承認に対応した情報分野認定 (J-CAC) への移行準備、Seoul Accord に積極的に協力している。

CAC : Computing Accreditation Commission

大学院修士課程の教育標準

BOK、カリキュラム、アウトカムズなどの標準づくりに向けて、分野別評価機関との連携、産業界との意見交換などを含め、基盤整備を進める予定であったが、これらについては次年度以降に行うこととした。

### (2) 初等・中等教育、大学一般向けの活動

高等学校の教科「情報」に関して、新指導要領に対する対応、教員の知識と技能のチェックリストのフォローを継続して行うとともに、高校教科「情報」新指導要領関連シンポジウムを開催し現場の先生との連携の場を設けた。また、小学校・中学校での教育の情報化と情報教育についても各種の試行・支援を続けている。

大学での新しい姿の一般情報教育 (GE) を推進すべく、一般情報処理教育の知識体系 (GEBOK) の次のステップとして GE カリキュラムのシラバス策定を開始した。

工学教育連合講演会の幹事学会として、当該講演会の企画・運営を行った。

各種のコンテストの後援などを継続して行い、情報分野に対する学生・生徒の興味をもたせる諸活動を促進した。また IS 教育コンテストを企画運営した。

## 4.3 人材育成・社会人向けの教育活動

### (1) 高度 IT 人材育成に向けた取り組み [所掌：IT プロフェッショナル委員会]

詳細は前 1.3 項を参照。

### (2) 社会人向けの活動 [所掌：情報処理教育委員会]

科学技術振興機構 (JST) 「Web ラーニングプラザ」教材制作の委託を受けて、「データベース」を制作した。

## 4.4 学術講習会・研究発表

各開催状況の詳細は付録2(p.30)に掲載する。

### (1) 全国大会 [所掌：全国大会組織委員会]

第72回全国大会(学会創立記念全国大会)を言語処理学会との共催で平成22年3月8日~12日に東京大学本郷キャンパスで開催した。プレイベント,ポストイベントを加えた5日間の構成とし,ソフトウェアジャパン2010も本大会に併せて開催した。本大会では,東京大学の協力のもと,チューリング賞受賞者のFran Allen氏をはじめとする招待講演,特別セッション,シンポジウム,大規模展示「今ドキッのIT@御殿下記念館」などのイベントを企画開催した。記念大会ということで聴講参加は無料とした。また,通例の一般セッション,学生セッション,デモセッションを行った。講演申込件数は1,822件(一般セッション382件,学生セッション1,413件,デモセッション27(前年度講演数:1,203件)),総参加者数は7,150名であった。また,サイバー参加を実施した企画では長時間視聴した参加者が700名(総入場者4,300名)に達した。

今回,特別企画として全国大会での学生の講演発表をエンカレッジすることを目的とした「情報処理学会推奨卒業論文・修士論文認定制度」を実施した。学生の投稿1,413件中712件が本制度にエントリーしており,講演数の伸びに貢献した。132件が認定候補となっている。

### (2) FIT2009 第8回情報科学技術フォーラム [所掌：FIT推進委員会]

FIT2009(第8回情報科学技術フォーラム)を,平成21年9月2日~4日に東北工業大学八木山キャンパスにおいて開催した。講演件数は765件,総参加者数は1,595名であった。

### (3) 連続セミナー [所掌：事業推進委員会]

「進化する組込みシステム技術」を全体テーマとし,年度内に,第1回「組込みシステムの現状」,第2回「組込みソフトウェアプラットフォーム」,第3回「組込みハードウェアプラットフォーム」,第4回「プラットフォーム時代の組込みアプリケーション」,第5回「組込みシステムの高信頼化-V&V」,第6回「組込み基盤ソフトウェアの課題」の全6回にわたって開催し,204名(内 有料参加99名,無料参加105名)の参加があった。

昨今の厳しい経済情勢により参加者を集めるのに非常に苦慮した。第1回目だけの参加費を「無料」,6回分の参加費を値下げ,複数名分をまとめて申込みいただいた場合の参加費ボリュームディスカウント,等々行ったが,想定していた参加者数には届かなかった。

### (4) プログラミング・シンポジウム [所掌：事業推進委員会]

年度内に3回のシンポジウムを開催した。

### (5) ITフォーラムの活性化 [所掌：技術応用運営委員会]

ソフトウェアジャパン2010のITフォーラムセッションにおいて,関連団体との連携イベントを推進した。

関連団体:情報処理推進機構(IPA),情報サービス産業協会(JISA),日本情報システム・ユーザー協会(JUAS),プロジェクトマネジメント学会,XMLコンソーシアム

ソフトウェアジャパン2010においてITメディアからメディア協賛を行った。

デジタルプラクティス創刊号は,サービスサイエンスを特集として発行した(1.2項参照)。

### (6) 「ソフトウェアジャパン2010」の開催 [所掌：技術応用運営委員会]

記念全国大会に併せて,「ソフトウェアジャパン2010:サステナブル社会を実現するIT」(平成22年3月9~11日,東京大学本郷キャンパス)を企画開催した。

本年度は「サステナブル社会を実現するIT」と題して,今社会にとっての主要な課題である「持続

可能性」を情報技術が適用できる新しい応用領域として捉え、この問題に対して IT に何ができるのか、新しいビジネスチャンスは何か、について企業の取り組みとして実務系の講演と IT 系の講演を、そして全国大会招待講演では将来ビジョンに関する講演を行った。また、IT に関する幅広い課題を議論できる開かれたコミュニティとして当会で活動している IT フォーラムによる「IT フォーラムセッション」、他団体（JISA、JUAS、XML コンソーシアム等）との連携イベント、さらに「ザ・ジャパンソフトウェアセッション」として「次世代スマートフォンで世界を目指す」をテーマに日本発の世界に誇るソフトウェアの講演を行った。

総参加者数：410 名、スポンサー：6 組織（7 口）、サポーター：26 組織（27）。

#### (7) 50 周年記念事業：コンピュータ将棋とトッププロ棋士の記念対局 [ 所掌：将棋プロジェクト委員会 ]

IT の進歩に貢献することを目的とするコンピュータ将棋とトッププロ棋士の対戦は、経済情勢激変の影響で困難となったが、その間にもコンピュータ将棋の強化は推進された。本会と電気通信大学との共同研究「合議プログラムの実験および評価関数の自動学習検証」の成果として、合議を採用した「文殊」が第 19 回世界コンピュータ将棋選手権（平成 21 年 5 月 5 日）で 3 位となった。

#### (8) 各支部による支部連合大会、講演会、シンポジウム等の開催

付録 2（p.31）参照

### 4.5 表彰等 [ 所掌：各選奨等委員会 ]

山下記念研究賞、長尾真記念特別賞、喜安記念業績賞、論文賞(5.2～5.4 項に対する顕彰)、大会優秀賞・奨励賞、優秀教育賞・教材賞、若手奨励賞、学会活動貢献賞などを贈呈した。詳細は付録 5（p.36～p.40）参照

---

## 5. 事業の状況：会誌および学術図書の刊行（定款 5 条 2 号）

---

各発刊状況の詳細は付録 3（p.32～p.34）に掲載する。

### 5.1 会誌「情報処理」(月刊) [ 所掌：会誌編集委員会 ]

#### (1) 会誌の編集

8 月を除く毎月 1 回編集委員会を開催し、会誌「情報処理」第 50 巻 4 号から第 51 巻 3 号まで計 12 号（本文 1,404 ページ、広告 72 ページ、平均発行部数 20,218 部/号）を編集発行した。

川合慧編集長のもと、記事の構成およびレイアウトを工夫し、役立つ会誌、読みやすい会誌の編集を心がけた。

「情報処理技術遺産」「I 見聞録」の連載を開始した。また、会誌のデジタル販売を開始した。

#### (2) 広告の状況

IPJSJ メールニュース、バナー広告、Web の人材募集広告ともに順調に進んでいる。

学生向けの「就職情報」についても順調な掲載がされている。

#### (3) 50 周年記念事業：記念会誌

特集「情報処理技術の未来地図」および特集「画像で綴る IPJSJ 全国大会 50 年」の企画および推進を行った。

## 5.2 「Journal of Information Processing (JIP)」 [所掌：JIP 編集委員会]

### (1) 「Journal of Information Processing (JIP)」の刊行体制の確立と国際化の強化

IPJSJ Digital Courier (DC) を発展的に継承するオープンアクセスの英文オンラインジャーナルとして、平成 20 年 4 月に刊行を再開した「Journal of Information Processing (JIP)」に関して、トムソン・ロイターの Web of Science 収録基準を満たす刊行体制に向けた整備を進めるために、JIP 国際化 WG を設立し、編集委員会の国際化を目指して編集委員に海外の著名な研究者を迎えるべく、候補者リストを作成し、依頼を開始した。海外からの投稿を促進するために、2 年間は JIP の掲載料を無料とすることとした。論文査読管理システム PRMS の英語での運用を整備した。

第 17 巻 138 ページから第 18 巻 146 ページ（論文 26 編，テクニカルノート 2 編，本文 336 ページ）を編集発行した。

### (2) 論文査読管理システム (PRMS) の JIP 対応

JIP への投稿論文の査読の対応に関して、英語説明文の整備と英文キーワードの修正を行った。

PRMS : Paper Review Management System

### (3) 情報関係学会英文論文合同アーカイブズ (IMT) の刊行体制の維持

平成 18 年度より刊行している IMT の編集運営会議幹事学会として、その安定した編集と定期的な刊行を支援し、93 編を掲載した。

IMT : Information and Media Technologies

現在 7 学会（映像情報メディア学会，言語処理学会，人工知能学会，日本ソフトウェア科学会，ヒューマンインタフェース学会，日本データベース学会，および本会）が参加している。

## 5.3 「情報処理学会論文誌 (ジャーナル)」(月刊) [所掌：ジャーナル編集委員会]

### (1) 「情報処理学会論文誌 (ジャーナル)」の編集

8 月を除く毎月 1 回定例の編集委員会を開催し、「情報処理学会論文誌 (ジャーナル)」第 50 巻 4 号から第 51 巻 3 号まで計 12 号（論文 261 編，テクニカルノート 16 編，本文 3,213 ページ，購読者数 4,315 名）を編集発行した。

### (2) 論文査読管理システム (PRMS) の運用

平成 19 年度より著者と査読者へのサービス向上のため運用している論文査読管理システム (PRMS) の運用を安定的に行った。データベースの改善を行うと共に、査読遅延の改善を目指してリマインダ機能などを整備した。

### (3) 特集号企画の充実

産学連携，シンポジウム連携，研究会連携などの特集号を企画し，充実した論文誌の出版に努めた。特集号企画をより充実させるため，査読期間の短いテクニカルノートの先行発行，シンポジウムとの並行投稿などの試みにも取り組んだ。特集号の一層の促進を目指して，ミニ特集号の検討を開始した。

### (4) 査読改善の検討

査読に関して十分な内容のガイダンス情報が不備であったことから，特に，メタ査読者の役割に関して誤解が生じていることなどの現状に鑑み，投稿者を励まし論文内容の改善をサポートするような査読を目指し，査読ガイドラインの新規作成の検討を開始した。

### (5) 50 周年記念事業：記念論文

50 周年記念論文の公募を行い，50 周年記念論文の査読に対応できるよう PRMS の整備を行った。

## 5.4 「情報処理学会論文誌(トランザクション)」 [所掌:各トランザクション編集委員会]

研究会が編集した「情報処理学会論文誌(トランザクション)」7誌を年度内に計29号発行した。

## 5.5 「情報処理学会デジタルプラクティス」 [所掌:デジタルプラクティス編集委員会]

前1.2項を参照。

## 5.6 学術図書等の刊行・公開

### (1) IT Text シリーズ [所掌:出版委員会]

“IT Text”シリーズの編集を進め,新たに「ユビキタスコンピューティング」「HPCプログラミング」の2冊を刊行した。

### (2) 歴史資料の調査・収集・公開 [所掌:歴史特別委員会]

「情報処理技術遺産」および「分散コンピュータ博物館」の認定を行った(認定式:22年3月9日)。(9.3(1)項に同じ)。

コンピュータ博物館の充実を継続して実施した。

1)日本語版:1991-2000年のパソコン,ワープロ,周辺機器(紙テープ・カード入出力装置,磁気テープ装置,磁気ディスク装置,プリンタ),メインフレーム用OSの公開。1991-2000年のオフコン用OSの公開準備。

2)英語版:メインフレーム用OS,その他のコンピュータ公開。PCサーバ,UNIXサーバの翻訳および公開準備,英語版のCMS化公開準備。

3)「情報処理技術遺産」および「分散コンピュータ博物館」の記事追加。

オーラルヒストリーの公開準備を行った。

単行本「日本のコンピュータの歴史(1981-2000年版)」の編集を行った。

情報処理技術遺産の中から特に興味深いものを取り上げて解説記事を会誌に掲載した。

### (3) 50周年記念事業:刊行物オンライン化 [所掌:刊行物オンライン化委員会]

詳細は「平成22年度事業計画5.6項(p.73)」を参照。

### (4) 50周年記念事業:次世代型ハンドブックの公開 [所掌:次世代ハンドブック編纂委員会]

詳細は「平成22年度事業計画5.6項(p.73)」を参照。

---

## 6. 事業の状況:標準化の推進ならびに普及啓蒙(定款5条3号)

---

### 6.1 JTC1の主なトピックス [所掌:情報規格調査会]

#### (1) JTC1の今後

##### 1) SC38の設立

2009年JTC1テルアピブ総会にてSC38が新しく設立された。担当する領域は,Webサービス,SOA(Services Oriented Architecture),クラウド・コンピューティング等をカバーする「分散アプリケーションプラットフォームおよびサービス(Distributed Application Platforms and Services)」となる。

## 2) Sensor Networks

前身の SGSN ( Study Group on Sensor Network ) が 2008 年 11 月の奈良総会で 1 年間の延長を認められ, 2009 年 10 月のテルアビブ総会まで活動を継続したが, テルアビブ総会以降は JTC1 直下に設けられた WG7 として活動を続けることになった。

### (2) JTC1 関連のその他の事項

#### 1) JTC1 Directives

JTC1 Directives と ISO/IEC Directives の整合化作業はほぼ終了し, 今後は JTC1 も ISO/IEC Directives を適用して標準開発を進めることになるが, 依然として JTC1 固有なルールも残りそれらは JTC1 Supplement として纏められている。

## 6.2 日本の活動状況 [ 所掌: 情報規格調査会 ]

### (1) 日本提案による国際標準化の推進

日本が 2009 年度に提案して承認された新業務作業項目 ( NP ) : 1 件

- ・ User Guide on ISO/IEC 19778 Parts 1, 2, 3 and 19780 Part 1

日本が 2009 年度に提案して投票中の新業務作業項目 ( NP ) : 1 件

- ・ Proposal for a New Work Item on Information Technology for Learning, Education and Training- Information Model for Competency

日本が 2009 年度に提案して承認された Fast-track DIS : 0 件

日本が提案して 2009 年度に IS が発行された規格 : 5 件

### (2) 国際会議への参加

全部で 324 回の会議が開催され, 日本からは 241 回の会議に 1,143 名が参加した。

### (3) 国際の役職引受け

議長 : 4 名      コンビナー : 18 名      レポーター : 3 名      SC セクレタリアート : 5 SC  
WG セクレタリアート : 6 WG      プロジェクトエディタ : 236 プロジェクトで 116 名

### (4) 国内委員会の開催状況

事業執行関連 : 41 回, 技術活動関連 : 541 回

### (5) 国内委員会への参加

国内委員会への延参加者数 : 1,465 名, 委員 : 1,074 名, エキスパート/オブザーバ : 353 名, リエゾン : 31 名, メールメンバ : 7 名

## 6.3 標準化活動の広報 [ 所掌: 情報規格調査会 ]

### (1) 広報活動

「情報技術標準 Newsletter」: 季刊誌 ( 年 4 回 ) および別冊 ( 年 1 回 ) を発行した。

情報技術標準化フォーラムの開催

- ・ 「次世代映像符号化技術の国際標準化動向」
- ・ 「次世代音声符号化技術の国際標準化動向」
- ・ 「e ラーニング標準化の過去と未来 - 情報システム, 教育, 社会のイノベーションの視点から - 」
- ・ 「JTC 1 Directives から JTC 1 Supplement への改定」

### (2) 表彰

付録 5 ( p.39 ) 参照

---

## 7. 事業の状況：情報技術関連の国際学協会への加盟ならびに連絡・協力（定款5条4号）

---

### 7.1 国際活動 [所掌：国際業務委員会，IFIP委員会]

国際会議の開催状況は付録4（p.35）に掲載する。

#### (1) IEEE-Computer Society（IEEE-CS）との連携・協力

IEEE-CS と本会が founder（毎年共催，第9回目）の国際会議「The 2009 Symposium on Applications and the Internet（SAINT2009）」を2009年7月20日～24日にシアトルで開催した。

記念全国大会（第72回全国大会）においてIEEE-CS 会長 Jim Isaak 氏の招待講演が行われた。

演題「Realizing the Future」

IEEE125周年セレモニーが10月23日に東京（大手町）で開かれ，村上副会長ならびに齊藤 IFIP 日本代表が出席した。

#### (2) International Federation for Information Processing（IFIP）の活動状況

IFIP 主導の資格制度「IFIP I3P」への参画

IP3（International Professional Practice Partnership）メンバーソサイエティに当会が正式に加入した。

IFIP 日本代表ならびに TC-Chair の総会 General Assembly（GA），理事会 Council への参加  
IFIP 総会に齊藤 IFIP 日本代表と TC14 中津 chair が参加した。

各 TC 日本代表の TC-meeting への参加

IFIP 活動の周知

会誌への活動報告，会議レポートの掲載のほか，メールニュース，Web を利用した情報発信を行った。

#### (3) アジア地域，その他の学協会との連携・協力

The Korean Institute of Information Scientists and Engineers（KIISE）との連携・協力

双方の全国大会において交互に会長を招聘し，招待講演を実施している。今年度は，白鳥会長が訪韓し 36th KIISE Fall Conference において招待講演を行った。

演題「Year 2020: Green and Symbiosis Towards Post Ubiquitous Information System」

他の海外学会との協力関係継続

- The Institute of Electrical and Electronics Engineers（IEEE）
- Association for Computing Machinery（ACM）
- Computer Society of India（CSI）
- Association Francaise des Sciences et Technologies de l'Information（ASTI）

#### (4) 国際会議の開催（2件）

2009 International Symposium on Ubiquitous Computing System（UCS2009）

開催日：2009年8月24～26日，開催地：北京，参加者数47名

International Workshop on Security（IWSEC2009）

開催日：2009年10月28日～30日，開催地：富山県，参加者数83名

#### (5) その他

The International Association for Pattern Recognition（IAPR）活動への参加

IAPR のメンバーソサイエティとして会費の支払いをしている。なお，IAPR 側からの要望（IAPR への名簿提出等）については，個人情報保護や倫理的な問題から学会として了承できない事を理事会で決定，IAPR 側へ連絡した。

---

## 8．事業の状況：関連学協会との連絡および協力（定款5条5号）

---

### 8．1 関連学協会・日本学術会議

#### (1) 電気・情報関連学会連絡協議会への参加

電気・情報関連学会連絡協議会に参加し、各学会の共通の問題について意見交換を行った。

#### (2) 日本工学会への参加

日本工学会に参加し、関連学協会の共通の問題について意見交換を行った。

#### (3) 研究発表・学術講習会等の共催

電子情報通信学会（情報・システムソサエティほか）との共催による「情報科学技術フォーラム（FIT）（前4.4項参照）」他、研究発表会および学術講習会において関連学協会等と適宜共催を行った。

#### (4) 日本学術会議への協力

日本学術会議協力学術研究団体として日本学術会議の活動に協力した。

### 8．2 会議の協賛後援等

#### (1) 国内会議の協賛・後援等

「生体・生理工学シンポジウム」（計測自動制御学会主催，平成21年9月24日～26日）ほか123件の協賛・後援等を行った。

#### (2) 国際会議の協賛・後援等

「ストカスティックシステムシンポジウム」（システム制御情報学会主催，平成21年11月13日～14日）ほか20件の協賛・後援等を行った。

---

## 9．法人運営

---

### 9．1 入会促進・情報発信・広報活動

#### (1) 学生会員の獲得と育成

引き続き、学生会員育成委員会のもとで、研究会と支部が協力し、新規学生会員の獲得と1研究会への無料登録を継続した。

学生会員をエンカレッジするため船井情報科学振興財団の協力で平成17年度から設けられた「IP SJ論文船井若手奨励賞」に受賞候補者10名を推薦した。

#### (2) 会員減の防止と新規会員の取り込み

「情報処理学会デジタルプラクティス」の無料公開（前1.2項）や、技術応用活動（前4.4項）等により実務家に向けた活動を推進し、現会員の退会防止に努めるとともに新規会員の取り込みを図った。諸活動において中心的な活動を行う非会員の委員等に対して、入会を勧めた。

#### (3) 新たな賛助会員の取り込み

理事が中心となり、新たな賛助会員の取り込みに努めた。

#### (4) 広報活動の活性化と情報発信の推進

広報委員会を立上げ、広報案件などを検討するスキームの確立に努めた。

学会としての意見表明を行い、各方面に広く取り上げられた（ 詳細は前 1.5 項参照）。

## (5) その他

各種行事等の場における入会促進，電子メールによる学会紹介，IPJSJ メールニュースの充実等の広報活動，ホテル・レンタカー等会員優待サービスの充実に努めた。また，情報関連展示会の場において本会の活動を紹介した。

## 9.2 運営体制の充実・改善等

### (1) 第三者機関「アドバイザリーボード」からの助言

アドバイザリーボードの運営を継続し，年に 2 回の会合を設け，平成 21 年 3 月の提言に対応するアクションプランの進捗報告を行うとともに，学会活動について意見交換を行った。

### (2) 諸活動の評価のためのデータ収集

諸活動の適切な評価を行うべく，関連データの収集を継続している。

### (3) 公益法人改革への対応

「一般社団法人」への移行申請について，行政庁の助言を得て修正申請するとともに，移行認可後の新運営への対応を進めた。

### (4) 著作権関連 [ 所掌：著作権委員会 ]

電子情報通信学会との連催に関する覚書を更新した。

Google ブックに対する提言を行った。（ 9.1(4)項，1.5 項に同じ）

知財専門委員 17 名の推薦を行った。

著作権法改訂に関する講演・パネル討論を記念全国大会で行った。

### (4) 電子化の推進

学会マネジメントシステムの会員認証 / プロファイル更新機能等のユーザビリティの改善を図った。

論文査読管理システム（PRMS）の機能強化，ユーザビリティの改善を図った。

研究報告，シンポジウム論文の電子投稿受付システムの開発を推進した。

国立情報学研究所（NII）との共同プロジェクト「情報学研究基盤」を推進し，電子図書館の試行を開始した。総合デジタルライブラリ制度とサイトライセンス制度の導入を検討した。

## 9.3 その他

### (1) 顕彰，名誉会員・フェローの選定など

功績賞，学会活動貢献賞の贈呈ほか，名誉会員の選定，フェローの認証，感謝状の贈呈，情報処理技術遺産の認定，分散コンピュータ博物館の認定等を行った。

詳細は付録 5（p.36～p.41）参照

### (2) 50 周年記念事業：50 年史の編纂 [ 所掌：50 年史編纂委員会 ]

詳細は「平成 22 年度事業計画 9.3 項（p.76）」を参照。

### (3) 50 周年記念事業：50 周年記念式典 [ 所掌：記念式典実施委員会 ]

平成 22 年 11 月 18 日に開催する記念式典の概要を取り纏め，具体的な検討を進めた。

### (4) 事務局職員

事務局常勤職員の年度末在籍者は 25 名（本部 17 名，規格 8 名）である。

## 付1．会議等に関する事項（総会、理事会、各種委員会）

### 総会

[第53回通常総会の構成（定款上の民法上の社員）]

役員24名、代表会員135名

総会成立定数：80名

\*会議の結果はいずれも全会一致

開催年月日	議事事項	会議結果
第53回通常総会 平成21年5月29日  議長：佐々木元（会長） 出席：156名（内委任状94名）	1. 平成20年度事業報告について 2. 平成20年度決算報告について 3. 平成21年度事業計画について 4. 平成21年度予算について 5. 会費滞納会員の取扱いについて 6. 名誉会員について 7. 平成21年度役員改選について 8. 一般社団法人移行に伴う定款の追加変更について 9. 表彰（功績賞，論文賞，喜安記念業績賞，長尾真記念特別賞）	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 ---

[第54回臨時総会の構成（定款上の民法上の社員）]

役員24名、代表会員123名

総会成立定数：74名

\*会議の結果はいずれも全会一致

開催年月日	議事事項	会議結果
第54回臨時総会 平成22年3月24日  議長：白鳥則郎（会長） 出席：132名（内委任状110名）	1. 一般社団法人移行に伴う定款の追加変更について 2. 内部管理資料としての平成20年度収支計算書について	承認 承認

### 理事会

[第544回までの構成（理事22名）]

会 長：佐々木元

副 会 長：土井美和子、喜連川優

前任理事：後藤厚宏、柴山悦哉、田中二郎、徳田英幸、西田豊明、福田 晃、星 徹、松原 仁、吉野松樹

後任理事：小島啓二、芝田 晃、高橋 修、武田浩一、田中 謙、中田登志之、萩谷昌己、堀内浩規、守安 隆、山本里枝子

監 事：板倉征男、平山雅之

[第545回以降の構成（理事22名）]

会 長：白鳥則郎

副 会 長：喜連川優 村上篤道

前任理事：小島啓二、芝田 晃、高橋 修、武田浩一、田中 謙、中田登志之、萩谷昌己、堀内浩規、守安 隆、山本里枝子

後任理事：大場みち子、串間和彦、佐藤三久、砂原秀樹、近山 隆、塚本昌彦、宗森 純、村上和彰、吉川正俊

監 事：平山雅之、東野輝夫

理事会成立定数：15名

\*会議の結果はいずれも全会一致

開催年月日	議事事項	会議の結果
第543回理事会 平成21年4月20日  議長：佐々木元（会長） 出席理事：22名（内委任状2名）	<p style="text-align: center;">[承認事項]</p> 1. 20年度会員数（3/31現在）/21年度会員数（4/13現在）（総務） 2. 平成21年度終身会員（総務） 3. 一般社団法人への移行申請に対する行政庁指摘事項（総務） 4. アドバイザリーボード提言への対応施策：パブコメ意見への回答 5. 第53回通常総会関係（総務・財務） (0) 議案 (1) 20年度事業報告 (2) 20年度決算 (3) 21年度事業計画 (4) 21年度予算 (5) 会費滞納会員の取扱い (6) 名誉会員の推挙 (7) 21年度役員改選 6. 平成21年度役員担務（会長・副会長） 7. 領域委員会委員長および財務委員の交代（調査研究） 8. シンポジウム等の開催願い/終了報告（調査研究） 9. 研究会主査、幹事の交代について（調査研究）	承認 承認 承認 承認  承認 承認 監査後最終提案 承認 一部次回再提案 承認 承認 承認 承認 承認 承認









## 各種委員会

委員長・主査， 副委員長・財務委員， 幹事・副査， 担当理事（担務）、\*オブザーバ， アドバイザ委員

### 1. 創立50周年記念事業

委員は6月以降の構成を掲載（以下、同）

#### 1.1 創立50周年記念事業実行委員会（平成21年度）

佐々木元、 中島秀之、 土井美和子、 / 喜連川優、 / 村上篤道、 委員（各実働母体の委員長・幹事）：旭 寛治、 大場みち子、 串間和彦、 川合 慧、 後藤厚宏、 坂井修一、 芝田 晃、 柴山悦哉、 武田浩一、 塚本昌彦、 田中 譲、 中島 浩、 中田登志之、 橋田浩一、 平田圭二、 松田晃一、 松原 仁、 宗森 純、 守安 隆、 山本里枝子、 吉野松樹

[平成21年7月23日、10月27日、平成22年1月26日、3月24日 いずれも理事会と併催] 記念事業の企画詳細検討・進捗報告

#### 1.1.1 刊行物オンライン化委員会（平成21年度）（平成18年6月～19年9月までは「論文誌オンライン化検討WG」）

中島秀之、 / 喜連川優、 中島 浩、 平田圭二、 坂井修一、 柴山悦哉、 大場みち子、 串間和彦、 芝田 晃、 田中 譲、 萩谷昌己、 守安 隆

[平成21年4月24日、ほか電子メールベース] 論文誌および研究会関係の刊行物オンライン化の推進

#### 1.1.2 次世代ハンドブック編纂委員会（平成21年度）

橋田浩一、 池内克史、 岡田謙一、 / 芝田 晃、 / 武田浩一、 / 塚本昌彦、 中島 浩、 伊藤一成、 大蒔和仁、 後藤 真、 小林 稔、 佐藤三久、 長尾 確、 西崎真也、 松原 仁、 三田真弓、 渡辺 尚

[平成21年5月21日、6月25日、7月23日、8月27日、10月9日、11月27日、平成22年1月8日、2月26日、3月30日、ほか電子メールベース] 次世代ハンドブック編纂の推進

#### 1.1.3 記念全国大会組織委員会（＝第72回全国大会組織委員会）

/ 喜連川優、 / 山本里枝子、 芝田 晃、 守安 隆、 武田浩一、 田中 譲、 萩谷昌己、 中田登志之、 堀内浩規、 小島啓二

[平成21年4月16日、5月21日、7月8日、9月8日、10月9日、11月25日、12月17日、平成22年1月20日、2月5日]

記念全国大会開催の推進

#### 1.1.3.1 記念全国大会プログラム委員会（＝第72回全国大会プログラム委員会）

坂井修一、 西田豊明、 丸山 宏、 山本里枝子、 吉川正俊、 武田浩一、 萩谷昌己、 近山 隆、 相原健郎、 河野健二、 五島正裕、 関亜紀子、 山崎竹視、 中川晋一、 松岡 聡、 大場みち子、 後藤真孝、 峯松信明、 箕 捷彦、 渡辺弘美、 寺田 努、 三宅なほみ、 橋田浩一、 中村 宏、 中野美由紀、 大蒔和仁、 松原 仁、 深野暁雄、 守屋悦朗

[平成21年4月3日、5月15日、6月22日、7月24日、9月17日、11月13日] 全国大会開催に関する検討実施およびプログラム編成。

#### 1.1.4 記念会誌編纂委員会（＝会誌編集委員会）

川合 慧、 武田浩一、 塚本昌彦、 石田 亨、 市瀬龍太郎、 位野木万里、 兼宗 進、 河辺義信、 久門耕一、 胡 振江、 五島正裕、 小林亜令、 佐伯元司、 白井良成、 白木善尚、 田中哲朗、 田中秀樹、 中川晋一、 長瀬友樹、 長谷川亨、 前田英作、 間瀬久雄、 山崎竹視、 山之内徹、 山本里枝子

[（7.1会誌編集委員会の開催に同じ）] 記念会誌の企画・推進

#### 1.1.5 トッププロ棋士に勝つためのコンピュータ将棋委員会

中島秀之、 松原 仁、 飯田弘之、 伊藤毅志、 柿木義一、 岸本章宏、 小谷善行、 瀧澤武信、 棚瀬 寧、 鶴岡慶雅、 橋本 剛、 保木邦仁、 山下 宏、 横山大作、 柴山悦哉、 関口智嗣、 中島 浩、 吉野松樹

[電子メールベース] コンピュータ将棋とプロ棋士の対戦実現の推進

#### 1.1.6 50年史編纂委員会（平成21年度）

旭 寛治、 石崎 俊、 / 喜連川優、 / 武田浩一、 / 塚本昌彦、 発田 弘、 柳川隆之、 山田昭彦、 和田英一

[平成21年6月25日、7月16日、9月7日、11月2日、平成22年1月28日、2月15日、ほか電子メールベース] 50年史編纂の推進

#### 1.1.7 記念論文選考委員会（＝学会論文誌運営委員会）

/ 喜連川優、 佐藤三久、 柴山悦哉、 高橋 修、 田中 譲、 萩谷昌己、 星 徹、 宗森 純

[平成21年8月20日、ほか電子メールベース] 記念論文公募の企画

#### 1.1.8 記念事業総務財務委員会（平成21年度）

土井美和子、 / 村上篤道、 / 中田登志之、 芝田 晃、 守安 隆、 大場みち子、 串間和彦

[平成21年7月24日、10月15日、平成22年1月15日] 記念事業の全体調整 / 予算執行管理 / 記念式典の企画立案

### 1.1.9 記念式典実施委員会

松田晃一、後藤厚宏、芝田 晃、大場みち子、徳田英幸、萩野隆彦、中田登志之、笈 捷彦、小橋喜嗣、勝山光太郎

[平成22年1月26日] 記念式典開催の推進

## 2. 総務

### 2.1 総務財務運営委員会

/ 村上篤道、芝田 晃、守安 隆、大場みち子、串間和彦

[平成21年4月13日、5月20日、6月11日、7月15日、9月24日、10月15日、11月17日、12月15日、平成22年1月15日、3月15日]  
通常総会関連事項 / 公益法人改革への対応(定款改訂・一般社団法人申請) / 支部会計の統合 / 文部科学省実地検査対応

### 2.2 支部長会議

/ 白鳥則郎、喜連川優、村上篤道、芝田 晃、守安 隆、大場みち子、串間和彦

各支部長：古川正志(北海道)、亀山充隆(東北)、孫工昇嗣(東海)、松尾和洋(北陸)、東野輝夫(関西)、北村俊明(中国)、菊地時夫(四国)、末吉敏則(九州)

[平成21年9月3日、12月22日(役員検討会)] 本部-支部の意見交換

### 2.3 ITプロフェッショナル委員会

旭 寛治、青山幹雄、大岩 元、笈 捷彦、掛下哲郎、芝田 晃、玉置政一、近山 隆、中田登志之

[電子メールベース]

#### 2.3.1 高度IT人材資格制度設計WG

芝田 晃、旭 寛治、大森久美子、田多井菊雄、高橋伸子、松浦規隆、並木重人、森澤正純、八木孝夫、佐立一範

[平成21年5月19日、6月17日、7月30日、8月27日、平成22年3月23日]

本会における高度IT人材資格制度の検討

#### 2.3.2 アドバイザリーボード

石原邦夫、大西弘致、國井秀子、椎橋章夫、天良和男、永野和男、村上輝康

[平成21年12月8日、平成22年3月1日] 第三者的な見地から情報処理学会の運営に関する助言

### 2.4 電子化委員会

/ 芝田 晃、 / 大場みち子、武田浩一、田中 謙、萩谷昌己、堀内浩規、守安 隆、山本里枝子

[電子メールベース]

学会マネジメントシステムの機能強化・ユーザビリティの改善ほか、各事業のシステム開発管理。

#### 2.4.1 セキュリティ委員会

村山優子、大谷和子、大場みち子、岡本栄司、菊池浩明、佐々木良一、芝田 晃、寺田真敏、鳥居 悟、丸山 宏

[電子メールベース] 情報セキュリティに関する諸対応。

### 2.5 学生会員育成委員会

/ 村上篤道、芝田 晃、中田登志之、近山 隆、守安 隆、大場みち子、串間和彦

[電子メールベース]

各支部・各研究会・大学所属会員への学生会員勧誘の協力依頼 / 正会員への移行状況の把握 / IPSJ論文船井若手奨励賞の候補者推薦

### 2.6 広報委員会

益田隆司、小橋喜嗣、村上篤道、芝田 晃、大場みち子、守安 隆、串間和彦、佐藤三久

[電子メールベース]

広報活動の推進

## 3. 調査研究活動

### 3.1 調査研究運営委員会

喜連川優、佐藤三久、高橋 修、萩谷昌己、池内克史、岡田謙一、片寄晴弘、坂井修一、柴山悦哉、中島 浩、東野輝夫、渡辺 尚

開催年月日	主な議事事項	会議結果
平成21年7月13日	1. 研究グループ規程改訂 2. 50年史 3. 次世代ハンドブック編纂	承認 確認 著者に修正を依頼 確認 ハンドブック編纂委員会へ検討依頼
平成21年10月15日	1. 平成22年度研究会登録費等の算定方法 2. 研究会の継続・新設・名称変更 3. 調査研究分野からの理事候補者の選出方法に関する内規改訂	承認 理事会へ報告 承認 理事会へ報告 承認
平成22年3月24日	1. 50年史 / 次世代ハンドブック 2. 研究会登録者の減少について	確認 検討

### 3.2 コンピュータサイエンス領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

中島 浩、 / 佐藤三久、岸 知二、木村晋二、小林 聡、角谷和俊、中村 宏、並木美太郎、西崎真也、平山雅之、藤田 聡、朴 泰祐

平成21年7月15日	領域共通-1. 平成21年度山下記念研究賞選定 領域共通-2. 50年史 / 次世代ハンドブック 領域共通-3. 調査研究からの理事候補者の選出について	承認 調査研究運営委員会へ報告 確認 確認
平成21年10月9日	領域共通-1. 研究会の継続・新設・名称変更 領域共通-2. 平成22年度研究会登録費 領域共通-3. 国際会議終了報告について	承認 調査研究運営委員会へ提案 承認 / 確認 確認
平成22年3月2日	領域共通-1. 21年度活動状況 / 22年度計画 領域共通-2. 50年史 / 次世代ハンドブック 領域共通-3. 研究会登録者の減少について 領域共通-4. 研究会投稿システムについて	確認 確認 検討 確認 テスト依頼

### 3.3 情報環境領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

岡田謙一、渡辺 尚、高橋 修、今村 誠、上倉一人、菊池浩明、串田高幸、小林 稔、酒井哲也、椎尾一郎、竹下 敦、辻 秀一、西本一志、堀内浩規、堀川 隆、山口 泰、山之上卓

[平成21年7月21日、10月1日、平成22年2月24日]  
いずれもコンピュータサイエンス領域委員会の領域共通事項に同じ。

### 3.4 フロンティア領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

池内克史、片寄晴弘、萩谷昌己、稲見昌彦、亀山 涉、河原達也、五斗 進、後藤 真、田中哲朗、出口光一郎、中川裕志、中森真理雄、長尾 確、西村拓一

[平成21年7月15日、10月13日、平成22年3月1日]  
いずれもコンピュータサイエンス領域委員会の領域共通事項に同じ。

### 3.5 トランザクション編集会議

/ 萩谷昌己、西崎真也（PRO）、伊藤 実（TOM）、川越恭二（TOD）、角谷和俊（TOD）、岸田和明（TOD）、並木美太郎（ACS）、阿久津達也（TBIO）、小野寺秀俊（TSLDM）、横矢直和（CVA）、山之上卓

[平成21年9月9日、ほか電子メールベース]  
50周年記念論文 / JIPへの海外からの投稿促進の為の編集体制・その他の改善について、ほか。

## 4. 教育活動

### 4.1 情報処理教育委員会（教育賞選定委員会を兼ねる）（傘下の委員会は掲載略）

箕 捷彦、角田博保、佐渡一広、小島啓二、村上和彰、阿草清滋、市川照久、牛島和夫、大岩 元、掛下哲郎、神沼靖子、川合 慧、河村一樹、久野 靖、黒川恒雄、児玉公信、駒谷昇一、佐々木良一、武井恵雄、辰己丈夫、富樫 敦、都倉信樹、富田悦次、中森真理雄、西田知博、疋田輝雄、福田 晃、本位田真一、宮川裕之、望月徹英、山本昌弘、弓場敏嗣、吉村 晋

[平成21年6月16日、7月15日、9月15日、10月19日、11月16日、平成22年1月14日、3月8日]  
情報教育に関する提言提案 / JABEE対応 / 50周年記念事業の中での教育関連イベント / 会誌「情報処理」の教育関係特集 / 傘下の小委員会報告ほか

## 5. 事業活動

### 5.1 事業推進委員会

/ 山本里枝子、 / 吉川正俊、 芝田 晃、 大場みち子、 守安 隆、 串間和彦、 中田登志之、 近山 隆、  
武田浩一、 高橋 修

[平成21年11月27日、ほか電子メールベース] 各イベント開催の進捗状況管理 / 21年度連続セミナー等の企画運営ほか。

### 5.2 第73回(平成23年春)全国大会組織委員会

/ 村上篤道、 / 吉川正俊、 大場みち子、 串間和彦、 塚本昌彦、 宗森 純、 佐藤三久、 近山 隆、  
砂原秀樹、 村上和彰

[平成21年7月8日、ほか電子メールベース] 全国大会開催の推進

### 5.3 FIT推進委員会(実行委員会・プログラム委員会は掲載略)

/ 喜連川優、 木戸出正継、 山本里枝子、 吉川正俊、 高橋 修、 佐藤三久、 谷 聖一、 安里 彰、 片桐雅二、  
高橋 潤、 大野健彦、 畑岡信夫、 本位田真一、 山下雅史、 村山優子、 井宮 淳

[平成21年6月4日、11月19日、平成22年2月2日] FITの運営推進に関する検討対応。

### 5.4 プログラミング・シンポジウム幹事会

並木美太郎、 小出 洋、 笹田耕一、 副田俊介、 疋田敏朗、 丸山一貴、 山口文彦

[平成21年6月11日、10月16日、12月14日、平成22年2月18日] 夏のプロシン / 若手の会 / プロシンの開催に関する検討実施。

## 6. 技術応用活動

### 6.1 技術応用運営委員会(ソフトウェアジャパン実行委員会併催)

丸山 宏、 / 中田登志之、 / 近山 隆、 武田浩一、 芝田 晃、 田中 譲、 守安 隆、 塚本昌彦、  
大場みち子、 宗森 純、 串間和彦

[4月28日、6月3日、7月13日、8月11日、9月18日、10月16日、11月16日]

ITフォーラムの活性化に向けた検討対応 / ソフトウェアジャパンの開催ほか。

## 7. 機関誌 / 出版活動

### 7.1 会誌編集委員会

川合 慧、 / 武田浩一、 / 塚本昌彦、 位野木万里、 兼宗 進、 久門耕一、 胡 振江、 佐伯元司、 白木善尚、  
田中哲朗、 田中秀樹、 長谷川亨、 前田英作、 間瀬久雄、 松原 仁、 山之内徹、 山本里枝子、 市瀬龍太郎、 小林亜令、  
五島正裕、 長瀬友樹、 山崎竹視、 河辺義信、 中川晋一

[平成21年4月8日、5月11日、6月8日、7月13日、9月15日、10月13日、11月9日、12月14日、平成22年1月14日、2月8日、3月8日]

全回共通: 会誌の編集刊行に関する検討実施。

### 7.2 学会論文誌運営委員会(平成19年度から設置)

/ 喜連川優、 佐藤三久、 高橋 修、 田中 譲、 萩谷昌己、 宗森 純

[平成21年8月20日、ほか電子メールベース]

50周年記念論文 / JIPへの海外からの投稿促進の為に編集体制・その他の改善について /  
トランザクション招待論文掲載料について、ほか。

#### 7.2.1 論文誌ジャーナル / JIP編集委員会(幹事会)

/ 田中 譲、 / 宗森 純、 明石 修、 伊藤孝行、 岡本昌之、 田中哲朗、 長谷川輝之、 平賀瑠美、 山崎浩一、 鷲崎弘宜

[平成21年4月3日、5月13日、6月4日、7月2日、9月11日、10月2日、11月6日、12月17日、平成22年1月8日、2月5日、3月5日]

全回共通: 論文誌ジャーナル / JIPの編集刊行に関する検討実施。

#### 7.2.2 JIP国際化WG

田中 譲、 宗森 純、 伊藤孝行、 井上智雄、 岡本昌之、 金 郡、 定兼邦彦、 張 勇兵、 満保雅浩、 鷲崎弘宜、  
Reijer Grimbergen、 \*Aran Lunzer

[電子メールベース]

### 7.2.3 論文誌トランザクション編集委員会（詳細略）

各編集委員長は3.5トランザクション編集会議を参照。

### 7.2.4 デジタルプラクティス編集委員会

平田圭二、土井美和子、村上篤道、丸山 宏、中田登志之、近山 隆、武田浩一、塚本昌彦、諏訪良武、安信千津子、大蒔和仁、守安 隆、串間和彦、坂井修一、吉野松樹、\*喜連川優

[平成21年10月16日、11月16日、12月15日、平成22年1月15日、2月8日、3月23日]

全回共通：デジタルプラクティスの編集刊行に関する検討実施。

### 7.3 出版委員会

/ 武田浩一、 / 塚本昌彦

[電子メールベース] 出版関連契約ほか。

### 7.3.1 英文図書出版委員会

近山 隆、江崎 浩、井上智雄、奥乃 博、河原達也、喜連川優、滝沢 誠、藤田友之、\*原田 誠

[電子メールベース] 英文図書の刊行に関する検討実施。

### 7.3.2 教科書委員会

松下 温、阪田史郎、伊藤 潔、井戸上彰、大河内正明、駒谷昇一、坂下善彦、曾根原登、西田豊明、本位田真一

[平成21年5月15日、12月21日] 教科書シリーズの刊行に関する検討実施。

### 7.4 歴史特別委員会（傘下の小委員会は掲載略）

発田 弘、松永俊雄、旭 寛治、鷓飼直哉、浦城恒雄、坂井修一、前島正裕、山田昭彦、和田英一、\*宇田 理

[平成21年4月17日、5月18日、6月29日、7月27日、8月28日、9月25日、10月22日、11月19日、平成22年1月15日、2月22日、3月29日]

オーラルヒストリー、コンピュータ博物館、卓越技術DB、「コンピュータの歴史」の公開推進 / 情報処理技術遺産等の認定

### 7.5 著作権委員会

/ 武田浩一、 / 塚本昌彦、天野真家、大谷和子、芝田 晃、杉本重雄、高橋 修、田中 譲、長谷川亨、平田圭二、丸山 宏

[平成21年7月23日、ほか電子メールベース] 共催会議の著作権の扱い対応ほか。

## 8. 標準化活動

### 8.1 情報規格調査会（規格役員会）

石崎 俊、大蒔和仁、小倉博行、木戸彰夫、串間和彦、櫻井義人、鈴木俊宏、関口正裕、平野芳行、丸山辰雄、山室雅司、山本 泰

[平成21年4月1日、5月18日、6月1日、6月15日、7月6日、8月24日、9月14日、10月26日、11月16日、12月21日、平成22年1月18日、1月25日、2月5日、2月15日、3月15日、3月29日]

全回共通：規格賛助員の入退会等 / 委員会関連変更 / 国際会議派遣・招致 / 月次決算。

その他、JTC1総会対応 / 標準化関連受託契約ほか。

## 9. 国際活動

### 9.1 国際業務委員会

/ 堀内浩規、 / 砂原秀樹、山田昭彦、齊藤忠夫、向山 博

[電子メールベース] 国際会議の申請・終了報告の確認ほか。

### 9.2 IFIP委員会

/ 喜連川優、齊藤忠夫（IFIP日本代表）、 / 堀内浩規、 / 砂原秀樹、小林直樹、萩谷昌己、大岩 元、木村文彦、亀田壽夫、内木哲也、岸上順一、南谷 崇、岡本栄司、西田豊明、黒須正明、中津良平、田島譲二、樋口和雄、発田 弘

[平成21年11月4日] IFIP年次総会報告 / 各TCの活動報告ほか。

## 10. その他委員会：委員は以下のサイトを参照

<http://www.ipsj.or.jp/01kyotsu/meibo/index.html>

付2．研究会および研究発表・学術講習会等一覧

[ 研究会等の詳細 ]

研究会等の名称 ( ( ) 内：英略称、*：研究グループ )	主査名 ( 運営委員数 )	登録者数
[ コンピュータサイエンス領域 ]		
データベースシステム ( DBS )	角谷和俊 ( 53 )	516
ソフトウェア工学 ( SE )	岸 知二 ( 48 )	561
計算機アーキテクチャ ( ARC )	中村 宏 ( 36 )	404
システムソフトウェアとオペレーティング・システム ( OS )	並木美太郎 ( 33 )	349
システムLSI設計技術 ( SLDM )	木村晋二 ( 35 )	293
ハイパフォーマンスコンピューティング ( HPC )	朴 泰祐 ( 39 )	512
プログラミング ( PRO )	西崎真也 ( 25 )	365
アルゴリズム ( AL )	藤田 聡 ( 27 )	248
数理モデル化と問題解決 ( MPS )	小林 聡 ( 42 )	353
組込みシステム ( EMB )	平山雅之 ( 34 )	317
[ 情報環境領域 ]		
マルチメディア通信と分散処理 ( DPS )	串田高幸 ( 45 )	388
ヒューマンコンピュータインタラクション ( HCI )	西本一志 ( 39 )	524
グラフィクスとCAD ( CG )	山口 泰 ( 31 )	310
情報システムと社会環境 ( IS )	辻 秀一 ( 24 )	219
情報学基礎 ( FI )	酒井哲也 ( 21 )	200
オーディオビジュアル複合情報処理 ( AVM )	上倉一人 ( 15 )	104
グループウェアとネットワークサービス ( GN )	小林 稔 ( 33 )	316
デジタルドキュメント ( DD )	今村 誠 ( 18 )	149
モバイルコンピューティングとユビキタス通信 ( MBL )	竹下 敦 ( 44 )	362
コンピュータセキュリティ ( CSEC )	菊池浩明 ( 40 )	487
高度交通システム ( ITS )	堀内浩規 ( 24 )	195
システム評価 ( EVA )	堀川 隆 ( 17 )	91
ユビキタスコンピューティング ( UBI )	椎尾一郎 ( 35 )	295
インターネットと運用技術 ( IOT )	山之上卓 ( 42 )	391
*放送コンピューティング ( BCC )	水野忠則 ( --- )	---
*情報セキュリティ心理学とトラスト ( SPT )	内田勝也 ( --- )	---
[ フロントティア領域 ]		
自然言語処理 ( NL )	中川裕志 ( 23 )	547
知能と複雑系 ( ICS )	長尾 確 ( 21 )	307
コンピュータビジョンとイメージメディア ( CVIM )	出口光一郎 ( 60 )	585
コンピュータと教育 ( CE )	中森真理雄 ( 38 )	568
人文科学とコンピュータ ( CH )	後藤 真 ( 25 )	255
音楽情報科学 ( MUS )	西村拓一 ( 31 )	373
音声言語情報処理 ( SLP )	河原達也 ( 28 )	283
電子化知的財産・社会基盤 ( EIP )	亀山 涉 ( 16 )	132
ゲーム情報学 ( GI )	田中哲朗 ( 20 )	251
エンタテインメントコンピューティング ( EC )	稲見昌彦 ( 20 )	153
バイオ情報学 ( BIO )	五斗 進 ( 16 )	133
*ネットワーク生態学 ( NE )	林 幸雄 ( --- )	---
[ 調査研究運営委員会 ]		
*教育学習支援情報システム ( CMS )	美濃導彦 ( --- )	---

1. 研究発表会（調査研究活動分）

1.1 コンピュータサイエンス領域

1.1.1 データベースシステム研究発表会

回数	開催年月	場所	発表件数	参加者数	共催団体
第148回	平成21年7月28日	神戸ファッションマート	25	74	
第149回	平成21年11月20日～21日	慶應義塾大学	27	97	

1.1.2 ソフトウェア工学研究発表会

第164回	平成21年5月28日～29日	インターネットシティアブ	30	21	
第165回	平成21年7月2日～3日	北陸先端科学技術大学院大学	10	15	
第166回	平成21年11月5日～6日	名古屋大学	22	54	
第167回	平成22年3月18日～19日	国立情報学研究所	38	77	

1.1.3 計算機アーキテクチャ研究発表会

第175回	平成21年4月22日～24日	沖縄県青年会館	38	30	
第176回	平成21年8月4日～6日	フォレスト仙台	32	87	
第177回	平成21年10月26日	東京工業大学	8	49	
第178回	平成21年11月30日～12月1日	北海道大学	15	27	
第179回	平成22年1月28日～29日	東芝本社	25	49	電子情報通信学会
第180回	平成22年3月1日	福岡システムLSI総合開発センター	9	32	

1.1.4 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会

第111回	平成21年4月22日～24日	沖縄県青年会館	38	49	
第112回	平成21年8月5日～6日	フォレスト仙台	21	41	
第113回	平成22年1月27日～28日	札幌コンベンションセンター	16	41	

1.1.5 システムLSI設計技術研究発表会

第140回	平成21年5月20日～21日	北九州国際会議場	9	8	電子情報通信学会
第141回	平成21年10月15日～16日	芦原温泉「まつや千千」	19	7	電子情報通信学会
第142回	平成21年12月2日～4日	高知市文化プラザ	33	15	電子情報通信学会
第143回	平成22年1月26日～27日	慶應義塾大学	31	7	電子情報通信学会
第144回	平成22年3月26日～28日	八丈シーパークリゾート	75	9	電子情報通信学会

1.1.6 ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会

第120回	平成21年6月12日	宇宙航空研究開発機構	9	53	
第121回	平成21年8月4日～6日	フォレスト仙台	42	133	
第122回	平成21年10月9日	筑波大学東京キャンパス	9	42	
第123回	平成21年11月30日～12月1日	北海道大学	15	58	
第124回	平成22年2月22日～23日	熱海ニューフジヤホテル	18	71	

1.1.7 プログラミング研究発表会

第74回	平成21年6月8日～9日	東京工業大学	8	46	
第75回	平成21年8月6日	フォレスト仙台	6	19	
第76回	平成21年10月28日～30日	石垣市商工会議所	12	30	
第77回	平成22年1月27日	大阪電気通信大学	4	23	
第78回	平成22年3月15日～16日	電気通信大学	17	52	

1.1.8 アルゴリズム研究発表会

第124回	平成21年5月11日	東京大学	10	27	
第125回	平成21年7月21日	東北大学	8	29	
第126回	平成21年9月15日	鳥取環境大学	10	21	
第127回	平成21年11月27日	名古屋大学	8	32	
第128回	平成22年1月26日	九州大学	12	42	

第129回	平成22年3月5日	東芝科学館	9	42	
-------	-----------	-------	---	----	--

#### 1.1.9 数理モデル化と問題解決研究発表会

第74回	平成21年7月13日	モンテカルロリゾート	11	16	
第75回	平成21年9月10日～11日	北海道大学	30	51	
第76回	平成21年12月17日～18日	電気通信大学	51	94	
第77回	平成22年3月4日～5日	ルネッサ赤沢	38	61	

#### 1.1.10 組込みシステム研究発表会

第13回	平成21年5月28日～29日	インターネットシティアブ	30	11	
第14回	平成21年7月24日	名古屋都市センター	11	35	
第15回	平成22年1月28日～29日	東芝本社	25	21	電子情報通信学会
第16回	平成22年3月26日～28日	八丈シーパークリゾート	75	38	電子情報通信学会

### 1.2 情報環境領域

#### 1.2.1 マルチメディア通信と分散処理研究発表会

第139回	平成21年6月18日～19日	静岡県立大学	12	20	
第140回	平成21年9月10日～11日	産業技術大学院大学	15	49	
第141回	平成21年11月26日～27日	呉市海事歴史科学館	32	43	
第142回	平成22年3月4日～5日	東北大学	56	55	

#### 1.2.2 ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会

第133回	平成21年5月15日～16日	石川県文教会館	13	44	
第134回	平成21年7月15日～16日	フォレスト鳥海	11	26	
第135回	平成21年11月12日～13日	お茶の水女子大学	24	48	
第136回	平成22年1月22日	京都産業大学	15	48	
第137回	平成22年3月19日	東洋大学	11	31	

#### 1.2.3 グラフィクスとCAD研究発表会

第135回	平成21年7月13日	日本SGI	6	22	
第136回	平成21年8月20日～21日	富士Calm	11	20	
第137回	平成21年11月5日～6日	九州工業大学	15	43	
第138回	平成22年2月11日	ホテル安比グランド	14	22	

#### 1.2.4 情報システムと社会環境研究発表会

第108回	平成21年6月5日	筑波大学・大塚キャンパス	6	21	
第109回	平成21年9月14日～15日	京都大学	11	28	
第110回	平成21年12月1日	産業技術大学	6	11	
第111回	平成22年3月18日	専修大学	21	47	

#### 1.2.5 情報学基礎研究発表会

第95回	平成21年7月28日	神戸ファッションマート	25	74	
第96回	平成21年11月19日	筑波大学東京キャンパス	11	9	
第97回	平成22年1月28日～29日	筑波大学	11	21	
第98回	平成22年3月4日～5日	沖縄県青年会館	12	18	

#### 1.2.6 オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会

第65回	平成21年7月9日～10日	小樽市民会館	22	6	電子情報通信学会
第66回	平成21年9月24日	広島大学	18	40	電子情報通信学会
第67回	平成21年12月7日～8日	名古屋大学 / 北海道大学	16	7	電子情報通信学会
第68回	平成22年3月4日～5日	沖縄産業振興センター	8	11	

### 1.2.7 グループウェアとネットワークサービス研究発表会

第72回	平成21年5月21日～22日	早稲田大学	20	33	電子情報通信学会
第73回	平成21年11月26日～27日	呉市海事歴史科学館	32	42	
第74回	平成22年1月21日～22日	福井工業大学	19	28	
第75回	平成22年3月18日～19日	神奈川工科大学	21	20	

### 1.2.8 デジタルドキュメント研究発表会

第71回	平成21年6月5日	日立製作所	8	21	
第72回	平成21年7月30日～31日	秋田大学	20	19	電子情報通信学会 / 電気学会
第73回	平成21年9月25日	東京大学	7	35	
第74回	平成22年1月29日	甲南大学	7	24	
第75回	平成22年3月4日～5日	沖縄県青年会館	12	16	

### 1.2.9 モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会

第49回	平成21年5月7日～8日	宮古島マリンターミナル	27	31	電子情報通信学会
第50回	平成21年9月10日～11日	専修大学	11	44	
第51回	平成21年11月5日～6日	名城大学	17	34	
第52回	平成22年1月28日～29日	東京大学	15	33	
第53回	平成22年3月26日～28日	八丈シーパークリゾート	75	17	電子情報通信学会

### 1.2.10 コンピュータセキュリティ研究発表会

第45回	平成21年5月28日～29日	インターネットシニアティブ	30	93	
第46回	平成21年7月2日～3日	秋田大学	44	44	電子情報通信学会
第47回	平成21年12月18日	東京理科大学	9	24	
第48回	平成22年3月4日～5日	東北大学	56	59	

### 1.2.11 高度交通システム研究発表会

第37回	平成21年6月12日	慶應義塾大学	8	34	
第38回	平成21年9月9日	お茶の水女子大学	5	36	電子情報通信学会 / 電気学会
第39回	平成21年11月5日～6日	名城大学	15	25	
第40回	平成22年3月4日～5日	和歌山ビック愛	9	16	

### 1.2.12 システム評価研究発表会

第29回	平成21年8月5日	フォレスト仙台	2	8	
第30回	平成21年11月16日	大阪大学	5	9	
第31回	平成22年3月8日	機械振興会館	3	8	

### 1.2.13 ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会

第22回	平成21年5月15日	奈良県新公会堂	20	50	
第23回	平成21年7月16日～17日	ATR	13	30	電子情報通信学会
第24回	平成21年11月12日～13日	お茶の水女子大学	24	24	
第25回	平成22年3月26日～28日	八丈シーパークリゾート	75	31	電子情報通信学会

### 1.2.14 インターネットと運用技術研究発表会

第5回	平成21年5月28日～29日	香川大学	19	72	電子情報通信学会
第6回	平成21年6月27日	東京農工大学	10	69	
第7回	平成21年10月9日	神戸大学	12	49	
第8回	平成22年3月1日～2日	宮城県作波温泉	56	72	電子情報通信学会

## 1.3 フロンティア領域

### 1.3.1 自然言語処理研究発表会

第191回	平成21年5月21日～22日	東京工業大学	24	88	
-------	----------------	--------	----	----	--

第192回	平成21年7月22日～23日	北見工業大学	15	37	電子情報通信学会 / 人工知能学会
第193回	平成21年9月28日～29日	京都大学	14	64	
第194回	平成21年11月16日～17日	愛媛大学	11	27	
第195回	平成22年1月28日～29日	筑波大学	11	29	

### 1.3.2 知能と複雑系研究発表会

第156回	平成21年8月27日	和歌山大学	3	14	人工知能学会
第157回	平成21年12月14日	名古屋国際会議場	2	7	
第158回	平成22年3月1日	二セコ昆布温泉ホテル	11	28	電子情報通信学会 / 人工知能学会
第159回	平成22年3月15日	名古屋工業大学	7	11	

### 1.3.3 コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会

第167回	平成21年6月9日～10日	京都大学	37	63	
第168回	平成21年8月31日～9月1日	東北大学	23	88	電子情報通信学会
第169回	平成21年11月26日～27日	石川県地場産業センター	47	164	電子情報通信学会
第170回	平成22年1月21日～22日	京都大学	60	324	電子情報通信学会
第171回	平成22年3月18日～19日	電気通信大学	26	50	

### 1.3.4 コンピュータと教育研究発表会

第99回	平成21年5月23日	静岡県立大学	12	35	
第100回	平成21年7月4日	東京大学	10	70	
第101回	平成21年10月10日	大阪市立大学	8	44	
第102回	平成21年12月11日～12日	広島大学	21	55	電子情報通信学会
第103回	平成22年3月6日～7日	筑波大学	24	79	

### 1.3.5 人文科学とコンピュータ研究発表会

第82回	平成21年5月23日	東京大学	10	50	
第83回	平成21年7月25日～26日	帝塚山大学東生駒キャンパス	20	32	人文地理学会歴史地理研究部会
第84回	平成21年10月24日	国立歴史民俗博物館	6	25	
第85回	平成22年2月6日	琉球大学	6	23	

### 1.3.6 音楽情報科学研究発表会

第80回	平成21年5月21日～22日	筑波大学春日キャンパス	12	77	
第81回	平成21年7月29日～31日	飯坂温泉	28	74	
第82回	平成21年11月2日～3日	東京大学	8	70	
第83回	平成21年12月5日～6日	国立音楽大学	17	44	
第84回	平成22年2月15日～16日	関西学院大学	14	38	

### 1.3.7 音声言語情報処理研究発表会

第76回	平成21年5月21日～22日	東京工業大学	24	73	
第77回	平成21年7月17日～18日	飯坂温泉	25	70	
第78回	平成21年10月23日	早稲田大学	12	85	
第79回	平成21年12月21日～22日	東京大学	41	200	電子情報通信学会
第80回	平成22年2月12日～13日	須磨温泉	17	57	

### 1.3.8 電子化知的財産・社会基盤研究発表会

第44回	平成21年6月5日	早稲田大学	14	47	電子情報通信学会
第45回	平成21年9月12日	新潟大学	6	18	
第46回	平成21年11月26日～27日	呉市海事歴史科学館	32	33	
第47回	平成22年2月19日	大阪市立大学	12	30	

1.3.9 ゲーム情報学研究発表会

第22回	平成21年6月26日	岩手県立大学	8	17	
第23回	平成22年3月8日	東京大学	9	35	

1.3.10 エンタテインメントコンピューティング研究発表会

第13回	平成21年5月9日	筑波大学	8	24	
第14回	平成21年8月21日	指宿温泉 旅館「吟松」	7	14	
第15回	平成22年3月12日～13日	東芝科学館	30	75	電子情報通信学会

1.3.11 バイオ情報学研究発表会

第17回	平成21年5月21日～22日	琉球大学	17	40	電子情報通信学会
第18回	平成21年9月17日～18日	北海道大学	12	31	
第19回	平成21年12月17日～18日	電気通信大学	51	71	
第20回	平成22年3月4日～5日	北陸先端科学技術大学院	13	35	

## 2. シンポジウム等

### 2.1 調査研究活動分

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	共催団体
先進的計算基盤システムシンポジウム SACSIS 2009	平成21年5月28日～29日	広島国際会議場	81	237	
マルチメディア,分散,協調とモバイル (DICOM02009)シンポジウム	平成21年7月8日～10日	別府温泉 杉乃井ホテル	251	375	
HCIプロフェッショナルワークショップ14	平成21年7月16日～17日	フォレスト鳥海		28	
iDB Workshop 2009	平成21年7月26日～28日	神戸ファッションマート		75	
情報教育シンポジウム2009	平成21年8月19日～21日	国民宿舎虹の松原ホテル	33	88	
ITS産業フォーラム	平成21年8月25日	化学会館会議室	4	20	
DAシンポジウム2009	平成21年8月26日～27日	ホテルアローレ	36	103	
ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2009	平成21年9月7日～9日	東京女子大学	51	166	
グループウェアとネットワークサービスワークショップ2009	平成21年9月17日～18日	ホテル軽井沢1130	24	34	
マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	平成21年10月7日～9日	層雲閣グランドホテル	53	79	
情報アクセスシンポジウム2009	平成21年10月20日	北海道大学	5	31	
組込みシステムシンポジウム2009	平成21年10月21日～23日	国立オリンピック記念青少年センター	38	174	
コンピュータセキュリティシンポジウム (CSS2009)	平成21年10月26日～28日	富山国際会議場	192	362	
ISチュートリアル	平成21年10月30日	情報サービス産業協会	4	36	
ゲームプログラミングワークショップ2009	平成21年11月13日～15日	箱根セミナーハウス	27	28	
WebDBフォーラム2009	平成21年11月19日～20日	慶應義塾大学	113	374	
コンピュータシステム・シンポジウム	平成21年11月26日～27日	筑波大学	32	101	
デジタルドキュメントシンポジウム2009	平成21年11月27日	東洋大学	7	79	
インターネットと運用技術シンポジウム	平成21年12月10日～11日	エルフ金沢	17	76	
人文科学とコンピュータシンポジウム 「じんもんこん2009」	平成21年12月18日～19日	立命館大学	54	174	
2010年ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム (HPCS2010)	平成22年1月14日～15日	工学院大学	32	150	
高度交通システム2010シンポジウム	平成22年1月15日	日本科学未来館	8	60	
ウインターワークショップ2010・イン・倉敷	平成22年1月21日～22日	倉敷市芸文館 / 倉敷アイビースクエア	83	90	
インタラクシオン2010	平成22年3月1日～2日	学術総合センター / 一橋記念講堂	131	621	

### 2.2 教育活動分

JABEE情報および情報関連分野審査講習会および技術者教育セミナー	平成21年8月3日(～4日)	化学会館会議室	13	12	注1
高校教科「情報」シンポジウム 2009秋	平成21年10月31日	早稲田大学 西早稲田キャンパス	5	48	注2
高校教科「情報」シンポジウム春 in 関西	平成22年3月13日	大阪電気通信大学	10	59	注3

注1) 電気学会, 電子情報通信学会, 理工系情報学科協議会

注2) 共催 情報処理学会 コンピュータと教育研究会

後援 文部科学省, 東京都教育委員会, 神奈川県教育委員会, 埼玉県教育委員会, 千葉県教育委員会, 群馬県教育委員会, 栃木県教育委員会, 茨城県教育委員会

協賛 教育システム情報学会, 日本教育工学会

協力 早稲田大学

注3) 共催 情報処理学会 コンピュータと教育研究会

後援 文部科学省, 大阪府教育委員会, 京都府教育委員会, 兵庫県教育委員会, 奈良県教育委員会, 滋賀県教育委員会, 和歌山県教育委員会, 大阪府教育委員会, 寝屋川市教育委員会, 大阪府高等学校情報教育研究会, 大阪私学教育情報化研究会

協力 大阪電気通信大学

### 3. 事業活動

#### 3.1 全国大会

名称	開催年月	場所	一般講演	招待講演	参加数
学会創立50周年記念（第72回）全国大会	平成22年3月8日～12日	東京大学	1,773	4	7,150

#### 3.2 FIT（情報科学技術フォーラム）

名称	開催年月	場所	一般講演	招待講演	参加数
FIT2009 第8回情報科学技術フォーラム	平成21年9月2日～4日	東北工業大学	774	2	1,595

共催：電子情報通信学会（情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ）

#### 3.3 連続セミナー2009：テーマ「進化する組み込みシステム技術」

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
組み込みシステムの現状	平成21年6月8日	東京電機大学	6	167
組み込みソフトウェアプラットフォーム	平成21年7月21日	東京電機大学	4	69
組み込みハードウェアプラットフォーム	平成21年9月8日	化学会館	5	84
プラットフォーム時代の組み込みアプリケーション開発	平成21年10月7日	東京電機大学	4	73
組み込みシステムの高信頼性-V&V	平成21年11月11日	東京電機大学	4	74
組み込み基盤ソフトウェアの課題	平成21年12月4日	東京電機大学	5	76

第1回のみ無料

協賛・後援：電子情報通信学会、情報サービス産業協会、電子情報技術産業協会、情報処理推進機構、組み込みシステム技術協会、東京電機大学未来科学部

#### 3.4 プログラミング・シンポジウム

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
夏のプログラミング・シンポジウム2009	平成21年8月31日～9月2日	ラフォーレ那須	22	47
第42回情報科学若手の会	平成21年9月19日～21日	川崎グランドホテル	7	24
第51回プログラミング・シンポジウム	平成22年1月12日～14日	箱根ホテル小涌園	24	99

### 4. 技術応用活動

#### 4.1 個別ITフォーラム（8件）

名称	代表者名
ITアーキテクト・CIO 今年度で活動終了	神原 彰
サービスサイエンス	諏訪良武
ユーザスタディ	田村 大
Web2.0 今年度で活動終了	栗原 潔
イノベティブ社会基盤	神成淳司
ユニバーサルデザイン協創（旧名称：福祉情報システム）	椋川友宏
ITダイバーシティ	安信千津子
高度IT人材育成フォーラム	掛下哲郎

#### 4.2 ITフォーラム関連のイベント

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	備考
ソフトウェアジャパン2010 サステイナブル社会を実現するIT	平成22年3月11日	東京大学	7	410	注1, 注2

注1) 協賛：日本情報システム・ユーザー協会、情報サービス産業協会、電子情報技術産業協会、電子情報通信学会、XMLコンソーシアム、

日本ソフトウェア科学会、プロジェクトマネジメント学会 後援：文部科学省、経済産業省、総務省、情報処理推進機構

注2) 7件の招待講演のほかにパネル討論、8件のITフォーラム（他団体連携5件（IPA・JUAS・JISA・XML・PM））、1件のデモを開催

## 5. 支部活動（役員会等は除く）

### 5.1 北海道支部

- ・情報処理北海道シンポジウム2009（平成21年10月3日、旭川市大雪クリスタルホール）参加者数123名
- ・支部講演会 5回（平成21年10月2日、12月8日、12月15日、平成22年1月29日、2月12日）

### 5.2 東北支部

- ・電気関係学会東北支部連合大会（平成21年8月20～21日、東北文化学園大）演題数306件、参加者数582名
- ・支部研究会 6回（平成21年12月7日、12月15日、12月25日、2月6日、平成22年2月12日、3月5日）
- ・支部講演会 10回（平成21年5月27日、5月27日、10月13日、10月20日、10月23日、11月10日、11月27日、12月4日、12月18日、1月13日）

### 5.3 東海支部

- ・電気関係学会東海支部連合大会（平成21年9月10日～11日、愛知工業大）演題数562件、参加者数1,204名
- ・講演会 7回（平成21年5月11日、7月2日、10月30日、11月19日、12月9日、1月13日、平成22年3月5日）
- ・研究会 13回（協賛等）

### 5.4 北陸支部

- ・特別講演会 1回（平成21年5月16日、金沢工業大）参加者数42名
- ・研究講演会 4回（平成21年10月10日、10月20日、11月18日、11月28日）
- ・電気関係学会北陸支部連合大会（平成21年9月12～13日、北陸先端科学技術大学院大）演題数331件、参加者数600名
- ・見学会（平成21年11月20日、ドコモ北陸・モバイル工房）参加者数10名
- ・北陸地区学生による研究発表会（平成22年3月6日、金沢工業高専）

### 5.5 関西支部

- ・関西支部支部大会（平成21年9月29日、神戸大）演題数74件、参加者数154名
- ・支部研究会：社会知能研究会 2回（平成21年9月29日、平成22年3月14日）
- ・支部研究会：ビジュアルインフォメーション研究会 1回（平成21年9月29日）
- ・支部研究会：ものづくり基盤コンピューティングシステム研究会 3回（平成21年9月29日、12月19日、平成22年3月30日）
- ・支部研究会：ユニバーサルコミュニケーション研究会 3回（平成21年5月29日、11月13日、平成22年3月16日）
- ・支部セミナー 1回（平成21年10月17～18日）
- ・講演会 2回（平成21年8月22日、平成22年2月5日）

### 5.6 中国支部

- ・電気・情報関連学会中国支部連合大会（平成21年10月17日、広島市立大）演題数507件、参加者数782名
- ・講演会 6回（平成21年5月22日、7月13日、9月1日、10月16日、平成22年1月21日、2月26日）
- ・講習会 4回（平成21年9月4日、10月23日、11月11日、12月3日）

### 5.7 四国支部

- ・電気系学会四国支部連合大会（平成21年9月26日、愛媛大）
- ・四国支部20周年記念事業：四国オープンソースセミナー（平成21年11月14日、高知市文化プラザ）演題数17件、参加者数90名
- ・四国支部20周年記念事業：プロコン EPOCH@まつやま（平成21年11月22～23日、愛媛大）本選20チーム
- ・支部講演会・研究会・後援等 8回（平成21年7月17日、10月5日、10月16日、10月23日、11月9日、12月11日、12月14日、2月22日）

### 5.8 九州支部

- ・電気関係学会九州支部連合大会（平成21年9月28～29日、九州工業大）演題数710件
- ・若手の会セミナー（平成20年9月7～8日、国民宿舎めかり山荘）演題数18件
- ・火の国情報シンポジウム2010（平成22年3月15～16日、宮崎大）
- ・講演会等 7回（平成21年7月7日、7月31日、8月7日、10月9日、10月31日～11月1日、11月12日～13日、平成22年3月23日～26日）

### 付3．刊行物（機関誌・図書）一覧

#### 1．会誌「情報処理」（月刊）

発行年月日	巻	号	発行部数	その他参考			
				特集テーマ	記事数	本文頁数	広告頁数
平成21年4月15日	50	4	20,400	ソフトウェア再利用の新しい波 広がりを見せるプロダクトライン型ソフトウェア開発	15	104	6
平成21年5月15日	50	5	20,420	ソフトウェアレビュー/ソフトウェアインスペクションと欠陥予防の現在	12	104	6
平成21年6月15日	50	6	20,500	科学技術計算におけるソフトウェア自動チューニング/研究会推薦博士論文速報	31	116	6
平成21年7月15日	50	7	20,500	ライフログ/「あの時代」に想いをはせてー証言者達からのメッセージ	26	120	6
平成21年8月15日	50	8	20,600	音楽情報処理技術の最前線	16	124	6
平成21年9月15日	50	9	19,500	生命情報学が直面する大規模ゲノムデータ時代の課題/コンピュータ将棋の新しい波	15	124	6
平成21年10月15日	50	10	19,600	未来のコンピュータ好きを育てる	13	96	8
平成21年11月15日	50	11	19,600	クラウドコンピューティング/ネットワーク仮想化技術と通信利用型放送	17	128	6
平成21年12月15日	50	12	20,000	クラウドコンピューティング時代の大規模運用技術～次世代ネットワーク機器管理プロトコルNETCONFとその応用～/研究会推薦博士論文速報	26	112	6
平成22年1月15日	51	1	20,350	社会に浸透する新たなコンピュータ/ネットワークの世界	20	108	4
平成22年2月15日	51	2	20,550	e-サイエンスを実現するグリッド技術	12	132	6
平成22年3月15日	51	3	20,600	マルウェア	18	136	6

#### 2．「情報処理学会論文誌（ジャーナル）」（月刊）

20年4月よりオンライン刊行のみ

発行年月日	巻	号	特集テーマ	その他参考		
				論文数	テクニカルノート数	本文頁数
平成21年4月15日	50	4	ユビキタスコンピューティングシステム(II)	19	1	232
平成21年5月15日	50	5	---	7	0	83
平成21年6月15日	50	6	---	13	0	154
平成21年7月15日	50	7	---	6	0	75
平成21年8月15日	50	8	---	14	2	161
平成21年9月15日	50	9	社会を活性化するコンピュータセキュリティ技術	37	0	466
平成21年10月15日	50	10	情報教育～理論・評価・展望～	15	2	201
平成21年11月15日	50	11	組込みシステム工学	14	1	164
平成21年12月15日	50	12	エンタテインメントコンピューティング/ソフトウェア工学の変化と深化	42	6	537
平成22年1月15日	51	1	環境貢献・社会貢献に向き合うネットワークサービス技術/安全・安心な社会を支える高度交通システムとモバイル通信	17	2	215
平成22年2月15日	51	2	インタラクションの基盤技術、デザインおよび応用/サイバーコミュニケーション環境を実現するネットワークサービス/身近になる情報システム・理論と実践・	38	0	456
平成22年3月15日	51	3	多様なネットワークサービスの統合・連携に向けたインターネットと運用管理技術/マルチメディア、分散、協調とモバイルシステム	39	2	469

3. 「Journal of Information Processing (JIP)」(不定期)

20年4月よりオンライン刊行のみ			参考		
発行年	巻	備考	論文数	テクニカルノート数	本文頁数
平成21年4月～12月	17	随時オンライン掲載	14	2	190
平成22年1月～3月	18	随時オンライン掲載	12	0	146

4. 「情報処理学会論文誌(トランザクション)」(不定期)

20年4月よりオンライン刊行のみ				その他参考	
発行年月日	巻	号	トランザクション名	論文数	本文頁数
平成21年5月25日	2	-	Bioinformatics	2	27
平成21年6月22日	2	-	Bioinformatics	1	9
平成21年6月29日	2	2	データベースシステム	12	172
平成21年7月2日	2	2	コンピューティングシステム	16	191
平成21年7月10日	2	3	プログラミング	4	60
平成21年8月14日	2	-	System LSI Design Methodology	11	143
平成21年8月28日	2	4	プログラミング	4	66
平成21年9月18日	2	3	コンピューティングシステム	17	200
平成21年9月24日	1	-	Computer Vision and Applications	9	132
平成21年9月24日	2	-	Bioinformatics	2	18
平成21年9月30日	2	3	データベースシステム	10	140
平成21年11月16日	1	-	Computer Vision and Applications	1	7
平成21年11月20日	2	5	プログラミング	3	47
平成21年12月11日	2	3	数理モデル化と応用	14	161
平成21年12月14日	1	-	Computer Vision and Applications	2	24
平成21年12月17日	2	4	コンピューティングシステム	7	110
平成21年12月24日	2	4	データベースシステム	5	60
平成22年1月26日	3	1	数理モデル化と応用	9	108
平成22年2月4日	2	-	Computer Vision and Applications	1	14
平成22年2月4日	3	-	Bioinformatics	1	8
平成22年2月15日	3	-	System LSI Design Methodology	10	138
平成22年3月8日	3	-	Bioinformatics	1	14
平成22年3月10日	3	1	プログラミング	3	65
平成22年3月11日	2	-	Computer Vision and Applications	8	88
平成22年3月15日	3	-	Bioinformatics	1	16
平成22年3月16日	3	1	コンピューティングシステム	9	111
平成22年3月16日	3	2	プログラミング	4	55
平成22年3月17日	3	2	数理モデル化と応用	12	118
平成22年3月19日	3	1	データベースシステム	7	95

5. その他出版(重版)

いずれも、判型:A5、委託出版社名:オーム社

平成21年6月5日	IT textシリーズ	ヒューマンコンピュータインタラクション	1版10刷	900	240
平成21年7月20日	IT textシリーズ	ユビキタスコンピューティング	1版1刷	2,000	220
平成21年8月10日	IT textシリーズ	自然言語処理	1版2刷	400	182
平成21年8月20日	IT textシリーズ	HPCプログラミング	1版1刷	2,000	242
平成21年9月5日	IT textシリーズ	情報セキュリティ	1版7刷	600	268

平成21年9月10日	IT textシリーズ コンピュータグラフィックス 1版4刷	268	300
平成21年9月30日	IT textシリーズ 応用Web技術 1版3刷	210	300
平成22年1月20日	IT textシリーズ 基礎Web技術 1版7刷	188	1200
平成22年1月20日	IT textシリーズ(一般教育) 情報システム基礎 1版3刷	218	800
平成22年1月20日	IT textシリーズ(一般教育) 情報と社会 1版7刷	212	1500
平成22年1月20日	IT textシリーズ ソフトウェア開発 1版10刷	212	1200
平成22年2月20日	IT textシリーズ コンパイラとパーチャルマシン 1版7刷	212	400
平成22年2月20日	IT textシリーズ コンピュータアーキテクチャ 1版7刷	236	1300
平成22年2月20日	IT textシリーズ アルゴリズム論 1版8刷	230	1200
平成22年2月20日	IT textシリーズ 情報と職業 1版8刷	222	500
平成22年2月20日	IT textシリーズ 自然言語処理 1版3刷	182	600
平成22年2月20日	IT textシリーズ(一般教育) 情報とコンピューティング 1版8刷	212	1200
平成22年2月20日	IT textシリーズ Linux演習 1版3刷	210	500
平成22年2月20日	IT textシリーズ 人工知能 1版5刷	188	400
平成22年2月20日	IT textシリーズ ヒューマンコンピュータインタラクション 1版11刷	240	1000
平成22年2月20日	IT textシリーズ オペレーティングシステム 1版13刷	230	1000

## 付4 . 国際会議一覧

名称	開催年月	場所	参加数	内 海外参加	海外 共催団体
2009 International Symposium on Ubiquitous Computing System (UCS2009)	平成21年8月24日～26日	北京	47	12	Tsinghua大学 (中国) IICM (台湾)
International Workshop on Security (IWSEC2009)	平成21年10月28日～30日	富山国際会議場	83	67	
14th Conference on Optical Network Design and Modeling 2010 (ONDM2010)	平成22年2月1日～3日	京都工芸繊維大学	(未報告)		IFIP

---

---

## 付5.表彰等 \*いずれも所属( )内)は選定当時、掲載は順不同、敬称略

---

---

1. 新名誉会員(1名) [平成22年度通常総会(平成22年5月)表彰][理事会(平成22年1月)]

・村岡洋一(早大)

2. 功績賞(4名) [平成22年度通常総会(平成22年5月)表彰][功績賞選定委員会(平成22年3月)]

・佐々木 元(NEC)  
・土井美和子(東芝)  
・中島秀之(はこだて未来大)  
・米澤明憲(東大)

3. 新フェロー(13名) [第72回全国大会(平成22年3月)表彰][フェロー選定委員会(平成21年12月)]

・浅川智恵子(日本IBM) 「視覚障害者支援技術の研究開発と普及に対する貢献」  
・石川 博(静岡大) 「次世代データベースとデータマイニングの研究開発及び本会運営への貢献」  
・菊池浩明(東海大) 「プライバシー保護と情報セキュリティの研究開発、発展および普及に関する貢献」  
・國井秀子(リコ-ITソリューションズ) 「情報処理産業界におけるダイバーシティ人材育成とデータベース分野発展に対する貢献」  
・後藤厚宏(NTT) 「大規模並列処理の研究とインターネット基盤サービス普及に対する貢献」  
・坂井修一(東大) 「新世代コンピュータシステムの研究開発および教育」  
・坂内正夫(NII) 「マルチメディア情報処理研究および学術情報基盤整備への貢献」  
・田中 譲(北大) 「知識メディア及び知識連携アーキテクチャとその応用に対する貢献」  
・辻井潤一(東大) 「言語処理システムの構築技術、および、その理論的な発展に対する貢献」  
・徳山 豪(東北大) 「計算幾何学に関する理論的な発展と、その新規応用分野の開拓」  
・福田 晃(九大) 「システムソフトウェア開発技術の研究と教育への貢献」  
・八木康史(阪大) 「全方位視覚情報処理とコンピュータビジョンに関する先駆的研究」  
・渡辺 治(東工大) 「計算量理論と乱択アルゴリズムの研究ならびに計算機科学の普及に対する貢献」

4. 論文賞(10件41名) [平成22年度通常総会(平成22年5月)表彰][論文賞選定委員会(平成22年2月)]

### (1) 情報処理学会論文賞

・日本語単語分割の分野適応のための部分的アノテーションを用いた条件付き確率場の学習  
坪井祐太(IBM)、森 信介(京大)、鹿島久嗣(IBM)、小田裕樹(NTTソフトウェア)、松本裕治(奈良先端大)  
・セキュリティを考慮した名前解決エージェントの設計と実装 石原知洋(慶大)、関谷勇司(東大)、村井 純(慶大)  
・形状記憶合金系を用いた触覚ディスプレイと微小振動の発生確率密度制御による触覚感覚の呈示 水上陽介、澤田秀之(香川大)  
・高齢者介護施設におけるコミュニケーションチャンネル確立過程の分析と支援システムの提案  
秋谷直矩、丹羽仁史、岡田真依、山崎敬一、小林貴訓、久野義徳(埼大)、山崎晶子(東京工科大)  
・レイヤ2ネットワークにおけるループ障害のリモート診断方式  
勝山恒男、安家 武、野村祐士、若本雅晶、野島 聡(富士通研)、木下和彦、村上孝三(大阪大)

### (2) Journal of Information Processing Outstanding Paper Award

・Automated Port-scan Classification with Decision Tree and Distributed Sensors  
Hiroaki Kikuchi, Naoya Fukuno, Tomohiro Kobori (Tokai Univ.), Masato Terada (Hitachi)、  
Tangtisanon Pikulkaew (King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang)

### (3) 情報処理学会論文誌プログラミング優秀論文賞

・L-Closure: 高性能・高信頼プログラミング言語の実装向け言語機構 八杉昌宏、平石 拓、篠原丈成、湯淺太一(京大)

### (4) 情報処理学会論文誌データベース優秀論文賞

・大規模データストリームのための履歴情報を用いたカーネル法の拡張 都築 学、小西 修(はこだて未来大)

### (5) 情報処理学会論文誌コンピュータビジョンとイメージメディア優秀論文賞

・平滑化処理の繰り返しによるグラフカットを用いた画像セグメンテーション  
永橋知行、藤吉弘亘(中部大)、金出武雄(カーネギーメロン大)

### (6) 情報処理学会論文誌コンピューティングシステム優秀論文賞

・Using a Virtual Machine Monitor to Slow Down CPU Speed for Embedded Time-Sensitive Software Testing  
Tetsuya Yoshida, Hiroshi Yamada, Kenji Kono (Keio Univ.)

5. 喜安記念業績賞 (3件15名, \*代表貢献者) [平成22年度通常総会 (平成22年5月) 表彰] [喜安記念業績賞選定委員会 (平成22年3月)]

- ・「動画像認識高並列プロセッサの研究開発とその実用化」  
京 昭倫\*、岡崎信一郎、藤田善弘、古賀拓也 (NECエレクトロニクス)、野本祥平 (NEC)
- ・「3G携帯電話端末用共通プラットフォームの共同開発」  
三木俊雄\* (NTTドコモ)、阿部泰弘 (富士通)、野並隆之 (三菱電機)、徳田正盛 (シャープ)、服部俊洋 (ルネサステクノロジ)
- ・「テラバイトデータ高速検索を可能としたXMLデータベースシステムの開発と実用化」  
服部雅一\* (東芝)、松井浩二、谷川 均 (東芝ソリューション)、宮澤隆幸、金輪拓也 (東芝)

6. 長尾真記念特別賞 (3名) [平成22年度通常総会 (平成22年5月) 表彰] [長尾真記念特別賞選定委員会 (平成22年2月)]

- ・石原 亨 (九大) 「コンピュータシステムの省エネルギー化に関する研究」
- ・佐藤いまり (NII) 「画像理解に基づく実世界モデルの構築と写真的画像生成の研究」
- ・津田宏治 (産総研) 「構造列挙アルゴリズムと構造カーネル関数手法を統合した構造データ分類方法の研究をはじめとする機械学習・データマイニング研究」

7. 山下記念研究賞 (51名) [第72回全国大会 (平成22年3月) 表彰] [各領域委員会 (平成21年7月)]

< コンピュータサイエンス領域 >

- ・ロックフリーGCLOCKページ置換アルゴリズム [データベースシステム] 油井 誠 (日本学術振興会 / 早大)
- ・ジャクソン法 (JSP) による状態遷移設計 [ソフトウェア工学] 紫合 治 (東京電機大)
- ・Webアプリケーション開発向けAOP機構の実装 [ソフトウェア工学] 外村慶二 (九工大)
- ・予測ミスした命令の実行を継続する投機手法 [計算機アーキテクチャ] 喜多貴信 (東大)
- ・組み込み向けマルチコアSoCにおける周期的プロセッサ間通信手法の提案 [計算機アーキテクチャ] 上久保雅規 (NEC)
- ・マルチコアSHにおける複数カーネル実行機構の設計と実装 [システムソフトウェアとオペレーティング・システム] 下沢 拓 (東大)
- ・広域分散環境のための仮想機械を利用したサービス協調複製基盤 [システムソフトウェアとオペレーティング・システム] 杉木章義 (筑波大)
- ・プロパティ分割と限定モデル検査を利用した長い反例を持つ設計誤りの検出手法 [システムLSI設計技術] 西原 佑 (東大)
- ・トレースログ可視化ツールの開発 [システムLSI設計技術] 後藤隼式 (ソニー)
- ・CUDA環境における高性能3次元FFT [ハイパフォーマンスコンピューティング] 額田 彰 (東工大)
- ・GPGPU上での流体アプリケーションの高速化手法 ~ 1GPUで姫野ベンチマーク60GFLOPS超 ~ [ハイパフォーマンスコンピューティング] 成瀬 彰 (富士通)
- ・JNI プログラム中のバグ発見 [プログラミング] 近藤 豪 (日本IBM)
- ・A Proof of the Molecular Conjecture [アルゴリズム] 谷川真一 (京大)
- ・内包の核を考慮した疑似形式概念のTop-N抽出 [数理モデル化と問題解決] 大久保好章 (北海道大)
- ・COSMIC法による機能規模測定の信頼性評価 [組み込みシステム] 野中 誠 (東洋大)

< 情報環境領域 >

- ・作業トレースによる工業製品の品質保証の試み [マルチメディア通信と分散処理] 佐藤永欣 (岩手県立大)
- ・MANETにおけるノードの信頼度を用いた利己的ノードの検出方法 [マルチメディア通信と分散処理] 佐藤文明 (東邦大)
- ・指の近接/接触検知が可能な3次元タッチパネル [ヒューマンコンピュータインタラクション] 岡野祐一 (三菱電機)
- ・固有解を用いた表面下散乱の高速表示 [グラフィクスとCAD] 新谷幹夫 (東邦大)
- ・典型的曲線の非定常化とその曲面への拡張 [グラフィクスとCAD] 三浦憲二郎 (静岡大)
- ・食品加工工程における余剰在庫削減を目的とした生産計画立案システムの構築 [情報システムと社会環境] 十文字豊 (岩手県立大)
- ・多重型トピックモデルを用いたアノテーション付きテキストからのエンティティ検索 [情報学基礎] 江口浩二 (神戸大)
- ・テレビ視聴環境を利用した顔認識のための変動学習 [オーディオビジュアル複合情報処理] 松尾賢治 (KDDI)
- ・滞り場所を考慮したコミュニケーション検出システム [グループウェアとネットワークサービス] 注連隆夫 (NEC)
- ・メンバ間協力関係の図示ツールとその事例による評価 [グループウェアとネットワークサービス] 鶴飼孝典 (富士通)
- ・WEB上の画像の分類とメタデータ付与による携帯電話向けWEB表示 [デジタルドキュメント] 成川夏子 (ソニー)

- ・センサネットワーク省電力化機構HGAFにおけるノード間ネットワーク接続性に関する検討  
[ モバイルコンピューティングとユビキタス通信 ] 稲垣徳也 (デンソー)
- ・ワイヤレスセンサネットワークの設計開発支援環境 D-sense [ モバイルコンピューティングとユビキタス通信 ] 森 駿介 (阪大)
- ・ボット攻撃における加害者PCおよび指令サーバの探索 [ コンピュータセキュリティ ] 竹森敬祐 (KDDI)
- ・情報セキュリティ対策におけるモチベーションの構造に関する研究 [ コンピュータセキュリティ ] 菅野泰子 (IPA)
- ・指向性アンテナおよび車車間通信を用いた歩行者位置追跡手法とその評価 [ 高度交通システム ] 澤 悠太 (メガチップス)
- ・MANETにおける通信グレーゾーン問題を考慮した高スループット経路の選択手法の提案と評価 [ システム評価 ] 田頭茂明 (九大)
- ・振動波と加速度センサを用いた物体間の接触関係の取得手法 [ ユビキタスコンピューティングシステム ] 柳沢 豊 (西日本電信電話)
- ・全教員に個別ファイアウォール機能を提供するキャンパス ネットワークの構築 [ インターネットと運用技術 ] 相原玲二 (広島大)
- ・目的環境に適合した最小パッケージ構成の自動構成システム [ インターネットと運用技術 ] 八木貴之 (三菱電機)

< フロントティア領域 >

- ・全ての部分文字列を考慮した文書分類 [ 自然言語処理 ] 岡野原大輔 (東大)
- ・重要文抽出と文圧縮を組み合わせた新たな抽出的要約手法 [ 自然言語処理 ] 富田紘平 (東工大)
- ・複雑ネットワークからの構造情報抽出 [ 知能と複雑系 ] 大沢英一 (はこだて未来大)
- ・屋外環境下における大規模拡散反射物体の表面色推定 [ コンピュータビジョンとイメージメディア ] 川上 玲 (東大)
- ・局所特徴量の関連性に着目したJoint特徴による物体検出 [ コンピュータビジョンとイメージメディア ] 藤吉弘巨 (中部大)
- ・ICTの活用と論述力支援の実践 [ コンピュータと教育 ] 奥田麻衣 (広島大)
- ・情報系工学科におけるロボットを用いた組込みシステム教育の実践 [ コンピュータと教育 ] 早川栄一 (拓殖大)
- ・Google Earth と『乾隆京城全図』を用いた北京歴史空間の情報基盤 [ 人文科学とコンピュータ ] 西村陽子 (情報・システム研究機構)
- ・コンピュータによる訓点資料の整理について [ 人文科学とコンピュータ ] 岡本隆明 (立命館)
- ・Vocalist: ユーザ歌唱を真似る歌声合成パラメータを自動推定するシステムの提案 [ 音楽情報科学 ] 中野倫靖 (産総研)
- ・Orpheus: 歌詞の韻律に基づく自動作曲システム [ 音楽情報科学 ] 深山 覚 (東大)
- ・集合知を利用した語彙情報の収集・共有・管理システム [ 音声言語情報処理 ] 中野鐵兵 (早大)
- ・会議録作成支援のための国会審議の音声認識システム [ 音声言語情報処理 ] 秋田祐哉 (京大)
- ・将棋の棋譜を利用した、大規模な評価関数の調整 [ ゲーム情報学 ] 金子知適 (東大)
- ・分散制御されたLEDマトリックスを用いた電飾アート制御プラットフォーム [ エンタテインメントコンピューティング ] 木下浩平 (オリエンタルランド)
- ・木の最適ラベリング問題とその進化系統樹への応用 [ バイオ情報学 ] 柳橋史成 (北大)

8. 大会優秀賞・大会奨励賞 [ 第72回全国大会 (平成22年3月) 表彰 ] [ 第71回全国大会 大会優秀賞・大会奨励賞選定委員会 ]

(1) 大会優秀賞 (9名)

- ・岩田真琴 (NECシステムテクノロジ) ・永徳真一郎 (NTT) ・白木 孝 (NEC) ・柚田明弘 (立命館大)
- ・野田五十樹 (産総研) ・坂東幸浩 (NTT) ・福山峻一 (大阪電通大) ・元木伸宏 (和歌山大)
- ・安田知弘 (日立)

(2) 大会奨励賞 (9名)

- ・有熊 威 (NEC) ・浦川順平 (電通大) ・小林史佳 (早大) ・中川達裕 (京大)
- ・服部真也 (立命館大) ・日下 航 (京大) ・三科 貴 (はこだて未来大) ・山口健太郎 (情報セキュリティ大)
- ・渡辺賢悟 (東京工科大)

9. 教育賞 [ 第72回全国大会 (平成22年3月) 表彰 ] [ 情報処理教育委員会 (平成22年1月) ]

(1) 優秀教育賞 (1件)

- ・金田重郎 (同志社大) 「社会連携型PBL教育実践から学習成果の論文化まで」を一貫して実施した教育の実績」

10. 学会活動貢献賞 / 感謝状

[ 第72回全国大会 (平成22年3月) 表彰 ] [ 総務財務運営委員会 (平成22年1月) ]

(1) 学会活動貢献賞 (4名)

- 「学会誌編集への貢献」 ・田中秀樹 (NII)  
「論文誌への査読貢献」 ・岸 知二 (早大) ・寺田真敏 (日立) ・西垣正勝 (静岡大)

(2) 感謝状 (5名)

- 「SAINT運営ならびに学会国際化への貢献」 ・Carl Chang (Iowa State Univ.) ・Sumi Helal (Univ. of Florida)  
「Paper Review Management System (PRMS) 機能拡張開発への貢献」  
・荒木拓也 (NEC) ・宇田隆哉 (東京工科大) ・加納 健 (NEC)

11. 若手奨励賞 (7件19名)

[ 当該コンテストにて表彰 ] [ 若手奨励賞選定委員会 (平成21年4月~22年3月) ]

< 第15回スーパーコンピューティングコンテスト (平成21年8月) >

- ・原 将己 (筑波大附属高) 吉里 陸 (筑波大附属高) 河合真一郎 (筑波大附属高)

< 第20回全国高等専門学校プログラミングコンテスト (平成21年10月) 課題部門 >

- ・鈴木光一朗 (東京工業高専) 一戸優介 (東京工業高専) 栗原竜矢 (東京工業高専) 菅沼 薫 (東京工業高専)  
山崎大地 (東京工業高専)

< 第20回全国高等専門学校プログラミングコンテスト (平成21年10月) 自由部門 >

- ・香川知広 (香川高専) 小山貴弘 (香川高専) 田尾龍督 (香川高専) 武藏翔吾 (香川高専)  
松下諒平 (香川高専)

< 第20回全国高等専門学校プログラミングコンテスト (平成21年10月) 競技部門 >

- ・岩見宏明 (大阪府立工業高専) 浜田悠樹 (大阪府立工業高専) 藏内 亮 (大阪府立工業高専)

< 第9回日本情報オリンピック (平成22年3月) >

- ・原 将己 (筑波大附属高) ・山下洋史 (灘高) ・村井翔悟 (開成中)

12. 情報規格調査会関連の表彰

(1) 標準化功績賞 (3名)

[ 情報規格調査会総会 (平成21年7月) 表彰 ] [ 情報規格調査会 ]

- ・黒川利明 (CSKホールディングス) ・原田節雄 (ソニー) ・三田真弓 (元 ITSCJ)

(2) 標準化貢献賞 (10名)

[ 情報規格調査会総会 (平成21年7月) 表彰 ] [ 情報規格調査会 ]

- ・親泊 肇 (NEC) ・小寺 孝 (日立) ・関 喜一 (産総研) ・田中 稔 (富士通)  
・田邊正雄 (NTT) ・仲林 清 (放送大) ・中村敏男 (沖ソフトウェア) ・原田 敬 (日立)  
・溝口正典 (NEC) ・八島由幸 (千葉工大)

(3) 国際規格開発賞 (28名: 22件)

[ 情報規格調査会 技術委員会 表彰 ] [ 情報規格調査会 ]

- ・宮地充子 (北陸先端大) ・市川桂介 (アライバビシ) ・佐野雅規 (NHK) ・平田謙次 (東洋大)  
・竹島秀治 (三菱化学メディア) ・Mark Callow (イワイ) 2件 ・関口俊一 (三菱電機) ・新谷保之 (パナソニック)  
・村上隆史 (パナソニック) ・中尾康二 (KDDI) ・鈴木俊哉 (広島大) ・谷口昭史 (パイオニア)  
・原田 敬 (日立) ・山田朝彦 (東芝ソリューション) ・才所敏明 (IT企画) ・国崎 修 (日立GST)  
・三村昌弘 (日立) ・大塚 玲 (産総研) ・渡邊 創 (産総研) ・原田 登 (NTT)  
・大網亮磨 (NEC) 2件 ・山田昭雄 (NEC) ・鈴木輝彦 (ソニー) ・山田悦久 (三菱電機) 2件  
・杉本和夫 (三菱電機)

(4) 工業標準化事業功労者表彰

[ 工業標準化表彰式 (平成21年10月) 表彰 ] [ 経済産業省 ]

- ・工業標準化事業表彰 経済産業大臣表彰: 平野芳行 (NEC)  
・国際標準化貢献者表彰 (産業技術環境局長表彰): 小川 清 (名古屋市工業研), 小暮拓世 (東京電機大), 高井弘光 (デンソーウェーブ)  
・国際標準化奨励者表彰 (産業技術環境局長表彰): 木全英明 (NTT)

13. FIT関連の各賞

[ FIT2009 (平成21年9月) 表彰 ] [ FIT推進委員会 ]

(1) 船井業績賞 (1名) 船井情報科学振興財団主催

- ・米澤明憲 (東大)

(2) 船井ベストペーパー賞 (3件) 船井情報科学振興財団主催

- ・柔軟かつ複数プログラミング言語対応のテストカバレッジ測定フレームワーク 坂本一憲、鷲崎弘宜、深澤良彰 (早大)  
・多機能コンセントのスケジューリング機能による待機電力の削減 明山寛史、川村尚生、菅原一孔、齊藤剛史、小西亮介 (鳥取大)  
・説得性に基づく情報推薦手法の提案 - 「ぶらっとPlat @ 自由が丘」における統合された行動ログの活用 -  
小柴 等、相原健郎 (NII)、森純一郎 (東大)、武田英明 (NII)、  
小田朋宏 (SRA先端技研)、星 孝哲 (SRA)、松原伸人 (SRA先端技研)



(1) 情報処理技術遺産（11件） ( )内は製造者、製造年

- ・微分解析機（昭和航空計器など、1940年代前半）
- ・NEAC-2203 NARC（日本電気、1961年）
- ・NEAC-1210（日本電気、1966年）
- ・SCK-201形漢字鍵盤さん孔機（新興製作所、1968年）
- ・FACOM 603F磁気テープ装置（富士通、1973年）
- ・初代「一太郎」（ジャストシステム、1985年）
- ・HITAC 201（日立製作所、1961年）
- ・MARS-101（日立製作所、1963年）
- ・MELCOM81（三菱電機、1968年）
- ・2400B型ラインプリンタ（沖電気工業、1973年）
- ・OASYS 100及び親指シフトキーボード試作機（富士通、1983年）

(2) 分散コンピュータ博物館（2件）

- ・東京理科大学近代科学資料館
  - ・東北大学サイバーサイエンスセンター展示室
-